

若狭湾

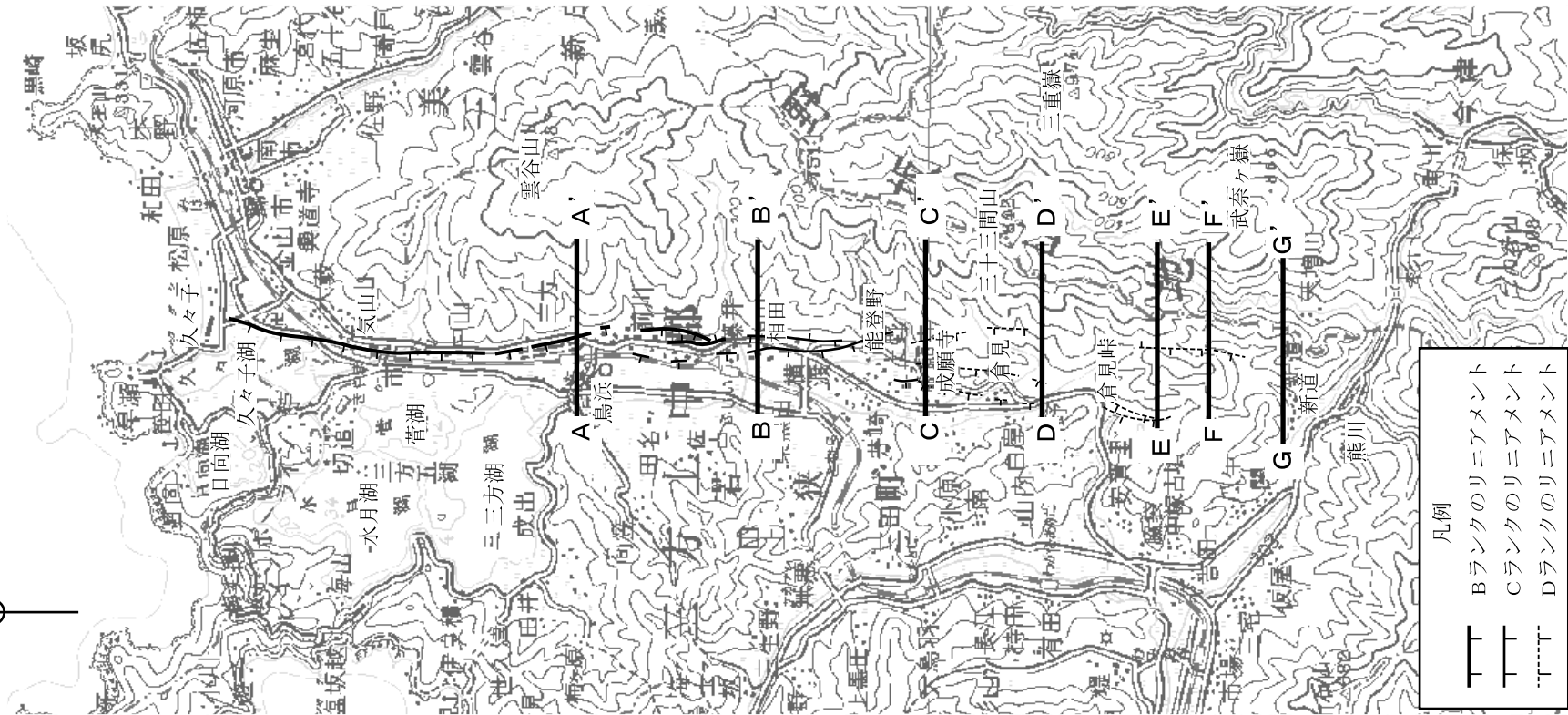
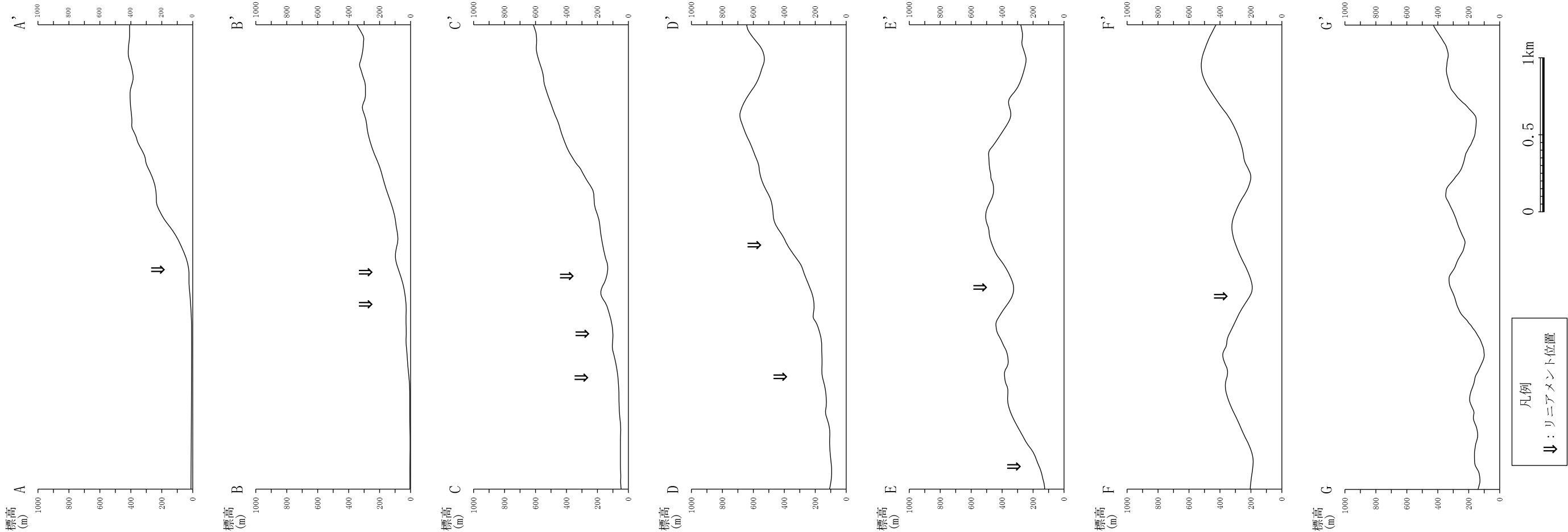


地形面の凡例	
	砂丘
	新期扇状地面
	古期扇状地面 2
	古期扇状地面 1
	河成低位段丘面
	河成中位段丘面 1
	海成中位段丘面 1
	河成高位段丘面

変動地形・リニアメントの凡例	
	Bランク
	Cランク
	Dランク
短線は低い側を示す。 矢印は尾根、谷の屈曲方向を示す。 短線がないリニアメントは断面で 高度の不連続が認められないもの。	
	屈曲した谷線
	表示範囲

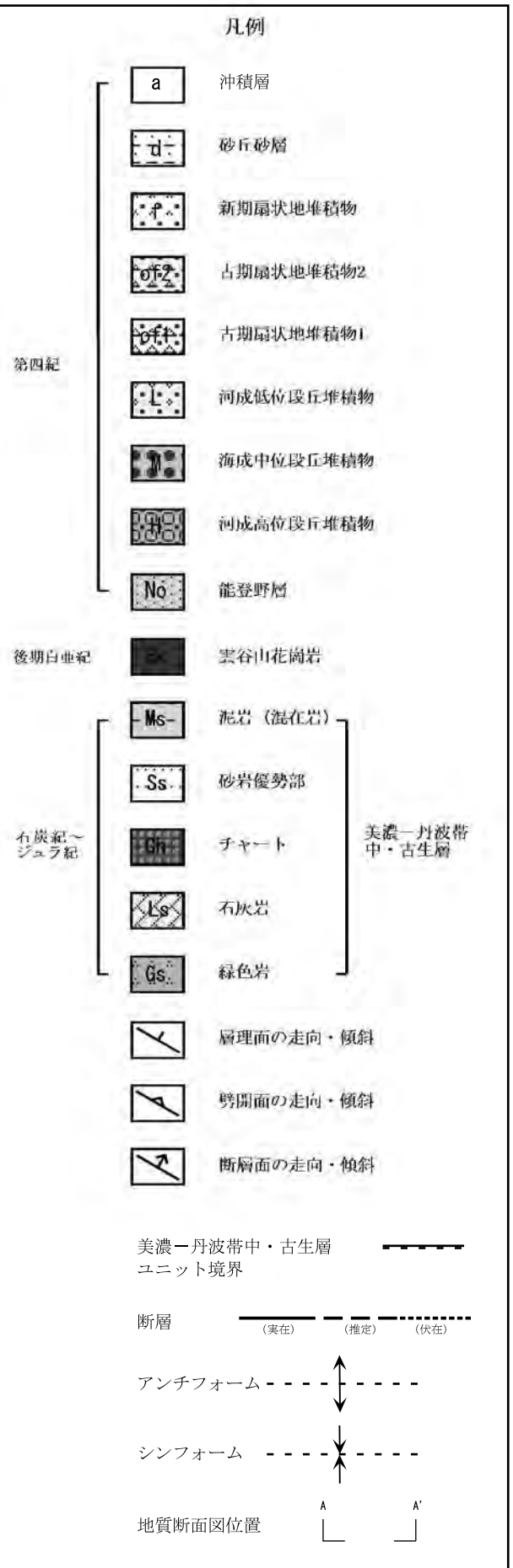
「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分1
国土基本図、数値地図20000（地図画像）及び数値地図
25000（地図画像）を複製したものである。
（承認番号 平27情保、第397号）」

第7.4.2.173図 三方断層周辺陸域の地形調査結果

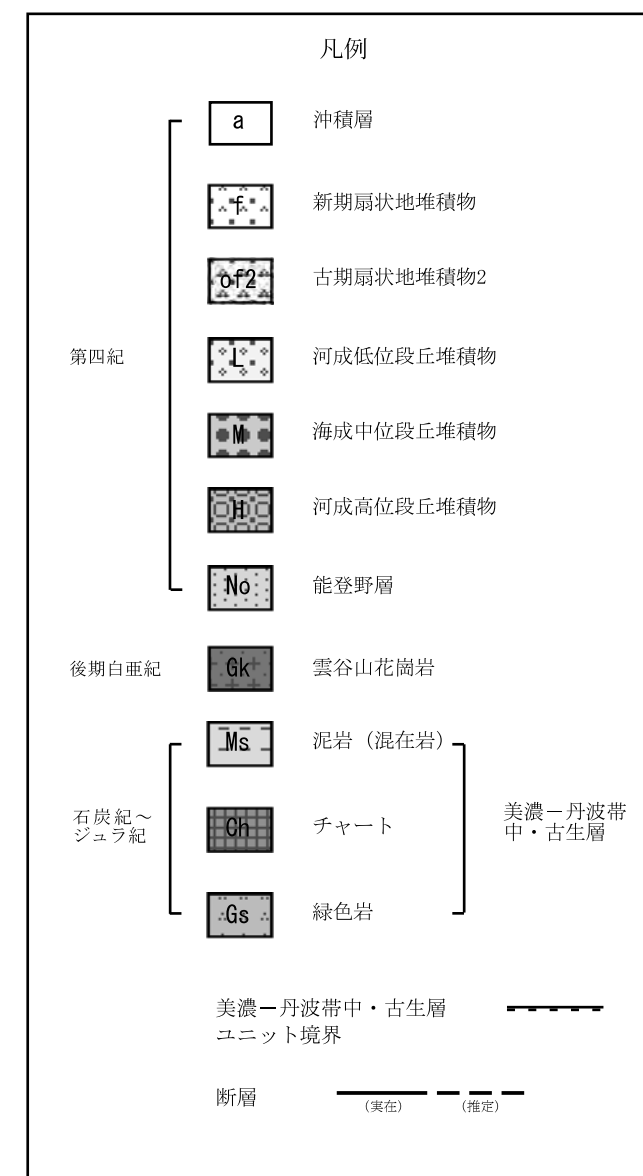
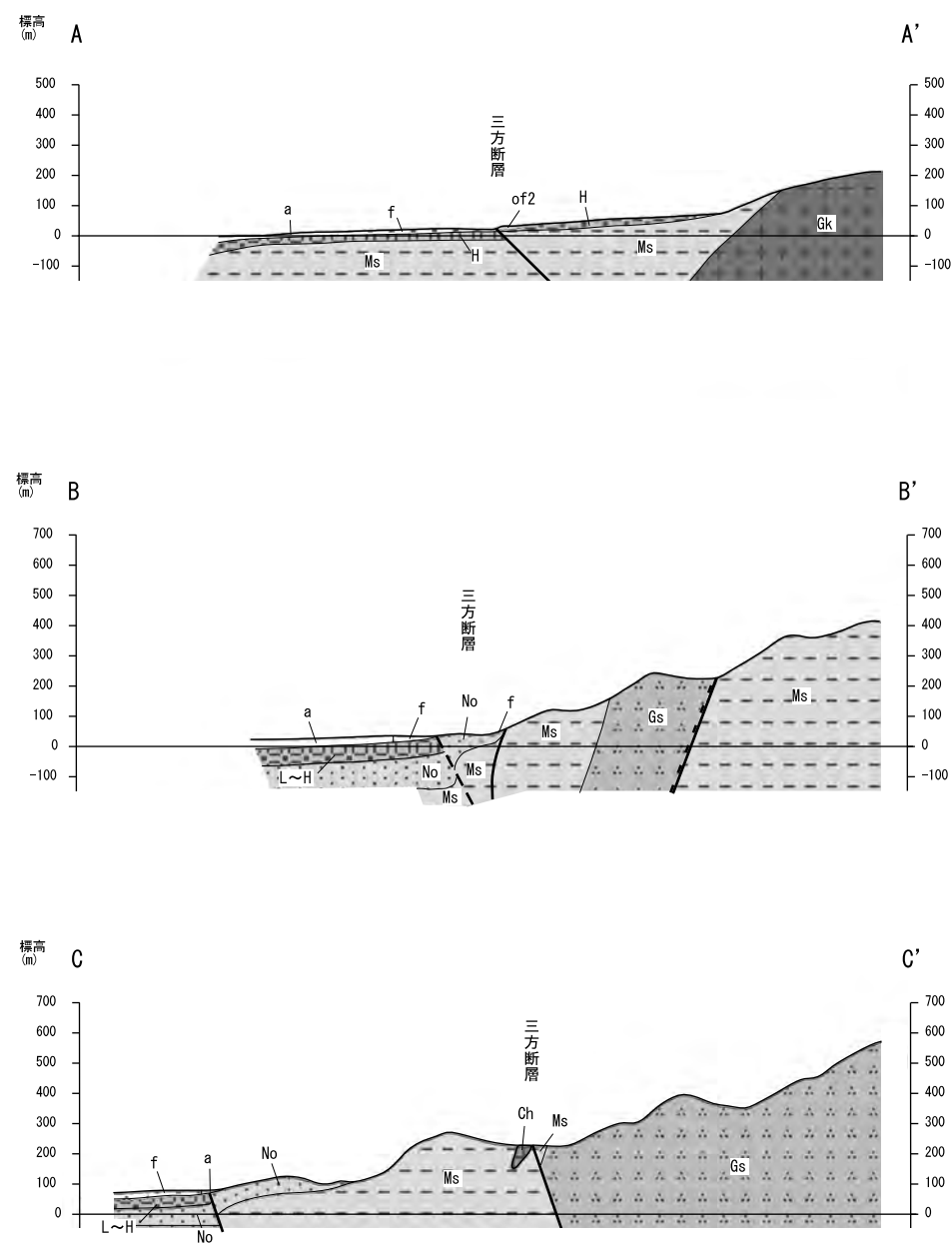


「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分1
国土基本図、数値地図200000（地図画像）及び数値地図
25000（地図画像）を複製したものである。
（承認番号 平27情復、第397号）」

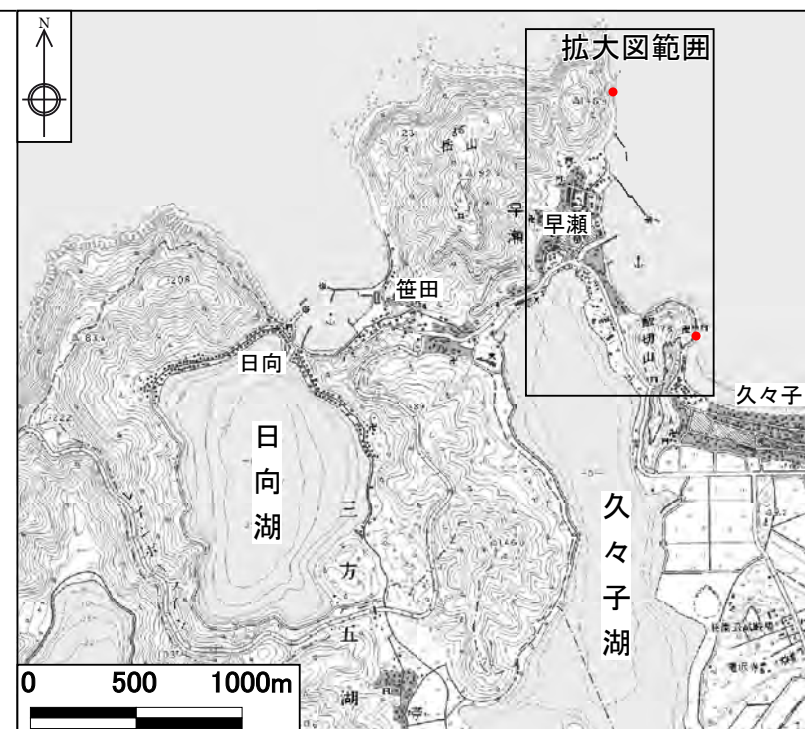
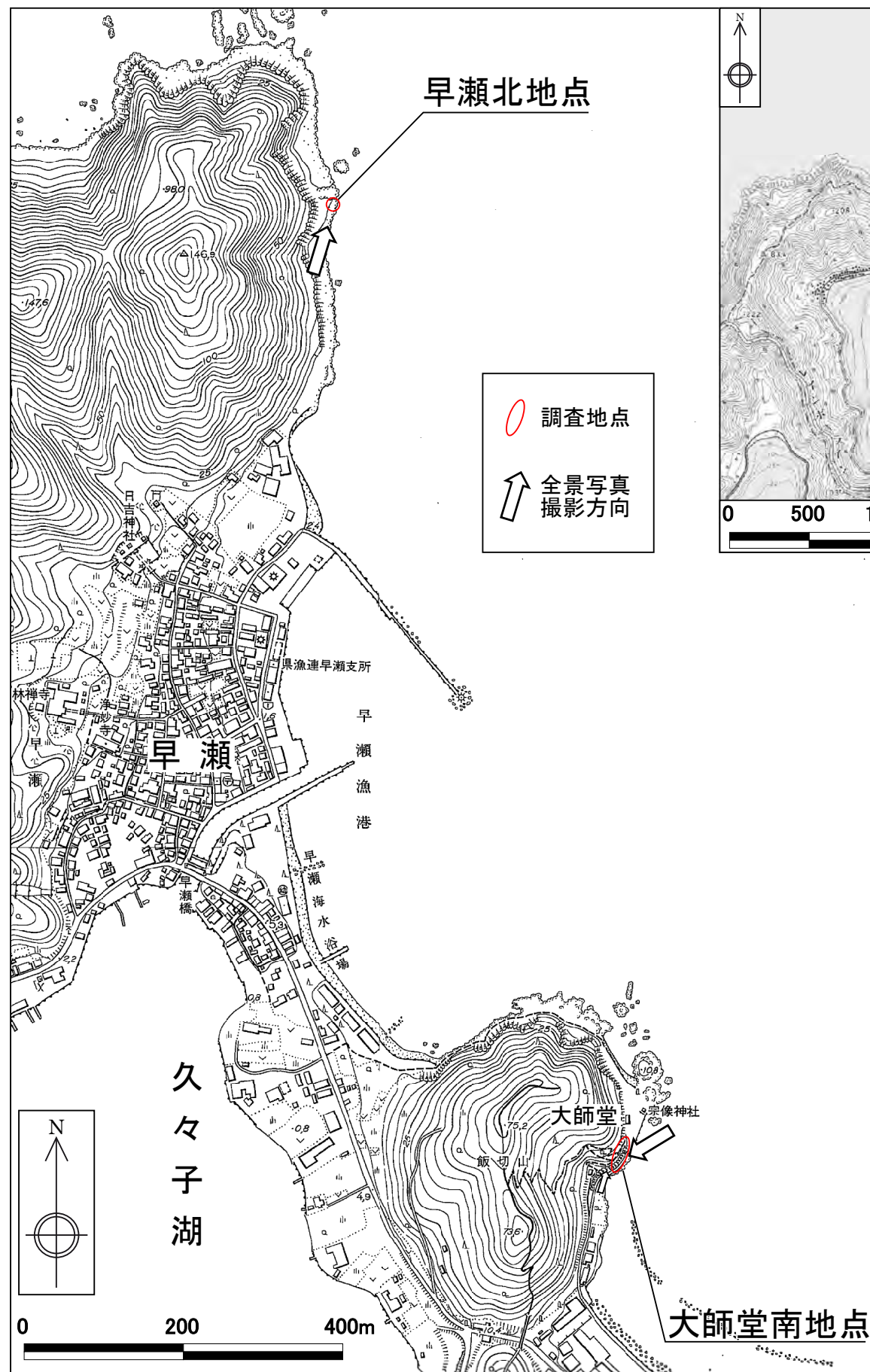
第7.4.2.174図 三方断層沿いの地形断面図



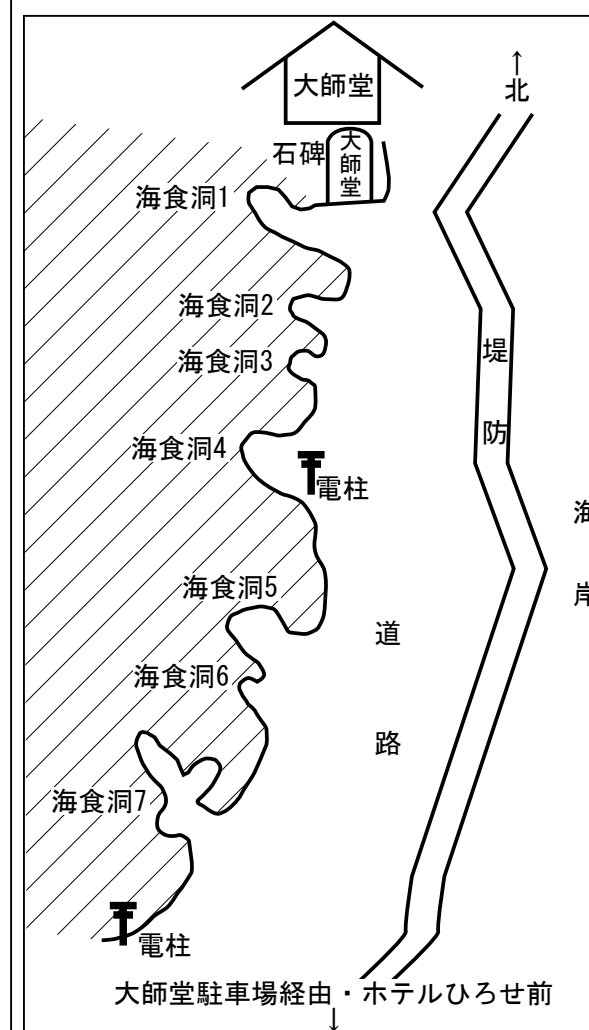
第7.4.2.175図 三方断層周辺陸域の地質図



第7.4.2.176図 三方断層周辺陸域の地質断面図



早瀬北地点 全景

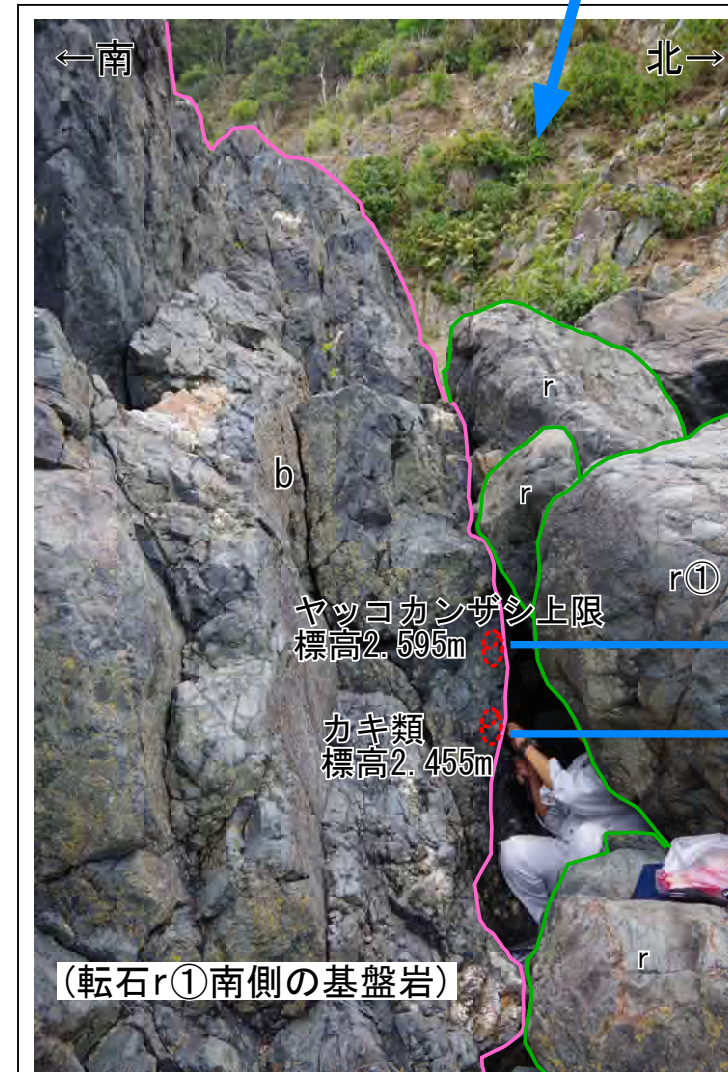
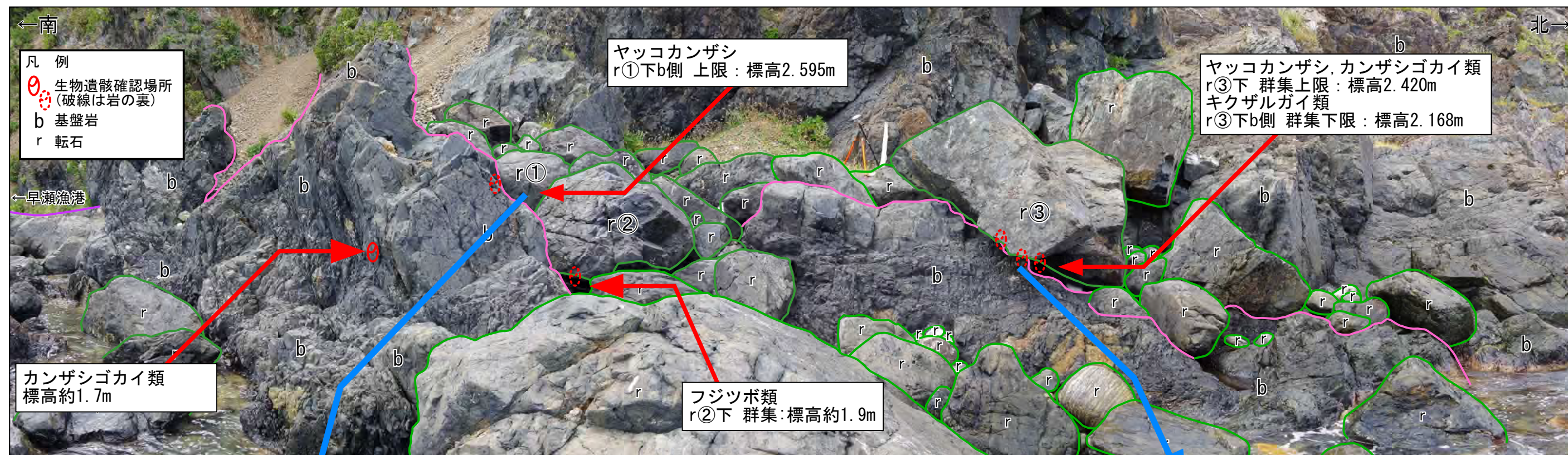


大師堂南地点(海食洞1～7)概略見取図

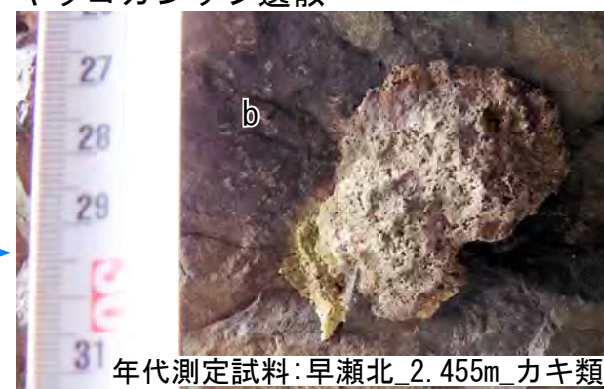


大師堂南地点(海食洞2～4) 全景

早瀬北地点における離水生物遺骸分布状況



基盤に付着する上限 (標高2.595m) のヤッコカンザシ遺骸



年代測定試料：早瀬北 2.455m カキ類
 基盤に付着するカキ類遺骸 (標高2.455m)

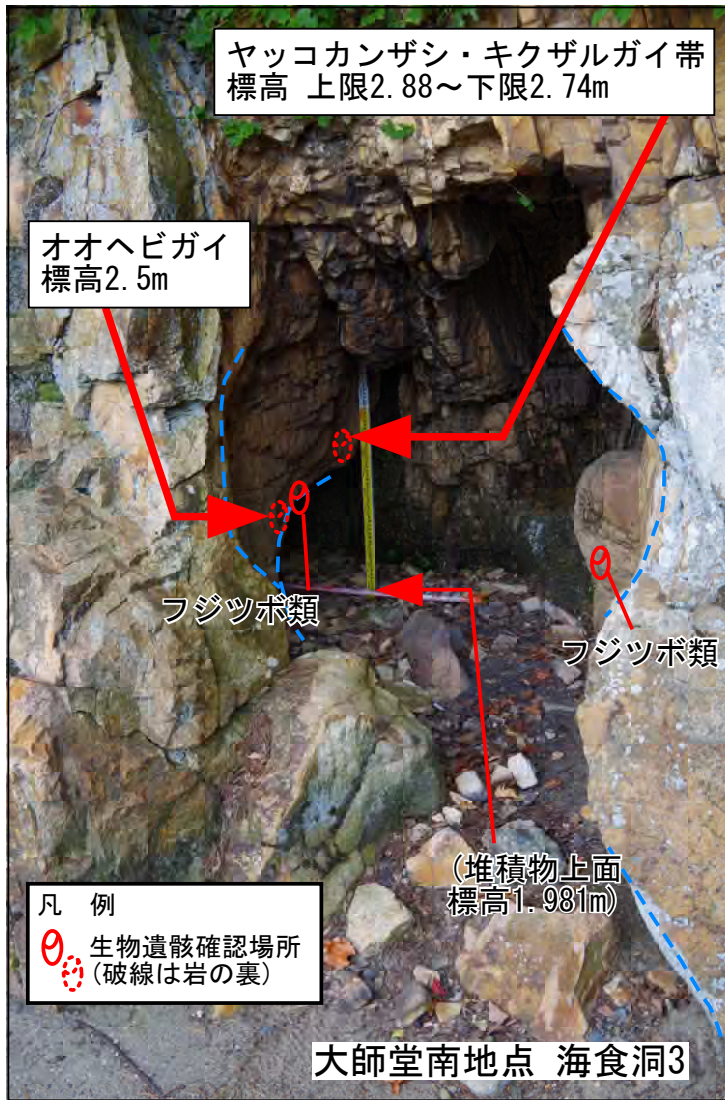


転石r③に付着するカンザシゴカイ類遺骸 (標高2.168~2.420m生物遺骸群集中)



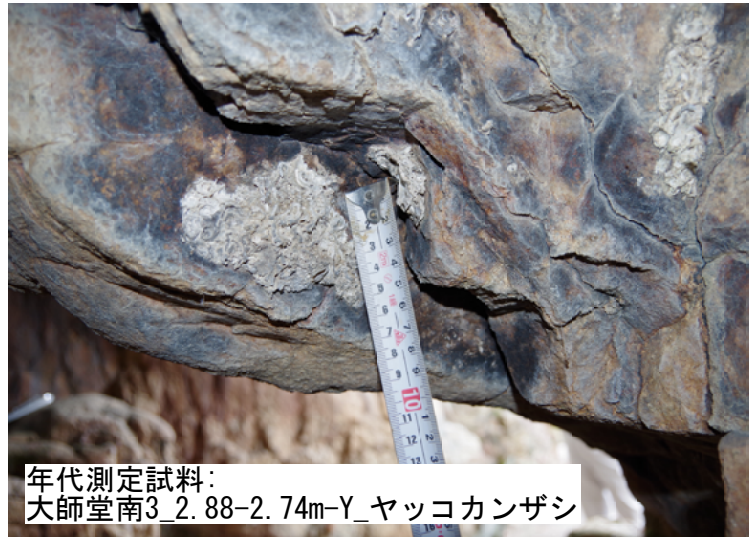
年代測定試料：早瀬北 2.168-2.420m キクザルガイ類
 基盤に付着するキクザルガイ類遺骸 (標高2.168~2.420m生物遺骸群集中)

大師堂南地点における離水生物遺骸分布状況



年代測定試料:大師堂南3_2.5m_オオヘビガイ

基盤に付着するオオヘビガイ遺骸
(標高2.5m)



年代測定試料：
大師堂南3_2.88-2.74m-Y_ヤッコカンザシ



年代測定試料:
大師堂南3_2.88-2.74m-K_キクザルガイ類



年代測定試料：
大師堂南4_2.591m_ヤッコカンザシ

基盤に付着するヤッコカンザシ遺骸
(標高2.591m)



年代測定試料：
大師堂南4_2.45m_オオヘビガイ

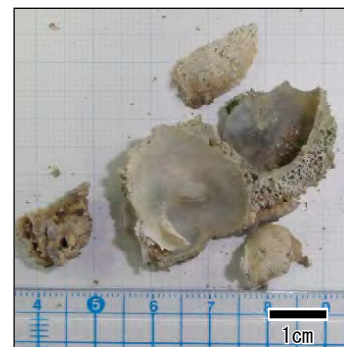
基盤に付着するオオヘビガイ遺骸
(標高2.45m)



早瀬北_2. 168-2. 420m_キクザルガイ類



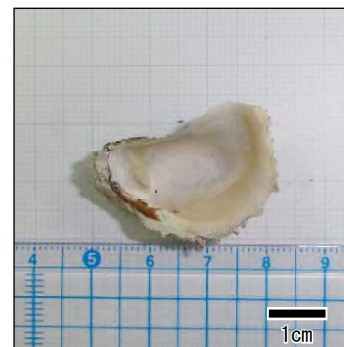
早瀬北_2. 455m_カキ類



大師堂南3_2. 5m_オオヘビガイ



大師堂南3_2. 88-2. 74m-Y_ヤッコカンザシ



大師堂南3_2. 88-2. 74m-K_キクザルガイ類



大師堂南4_2. 591m_ヤッコカンザシ



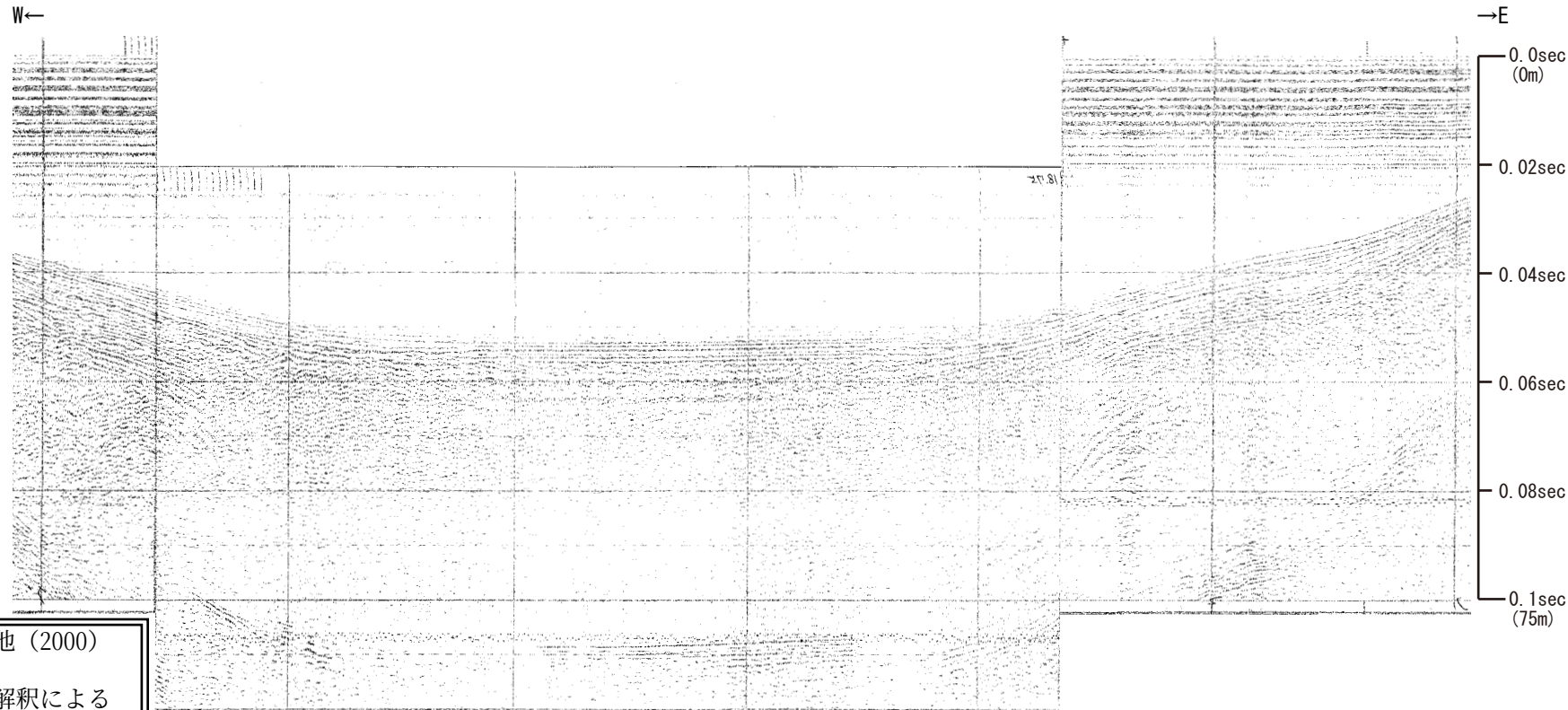
大師堂南4_2. 45m_オオヘビガイ



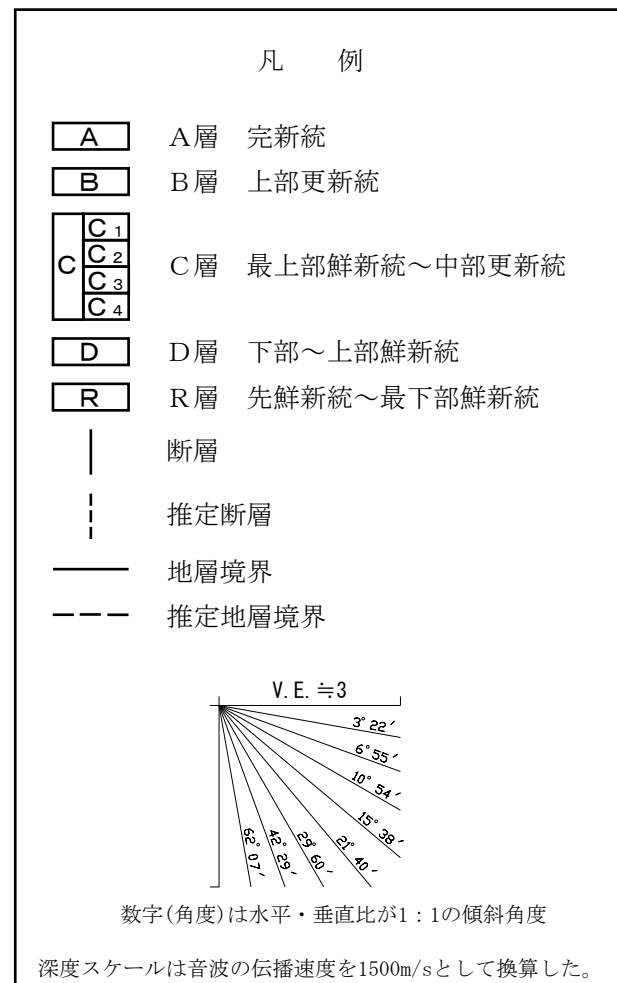
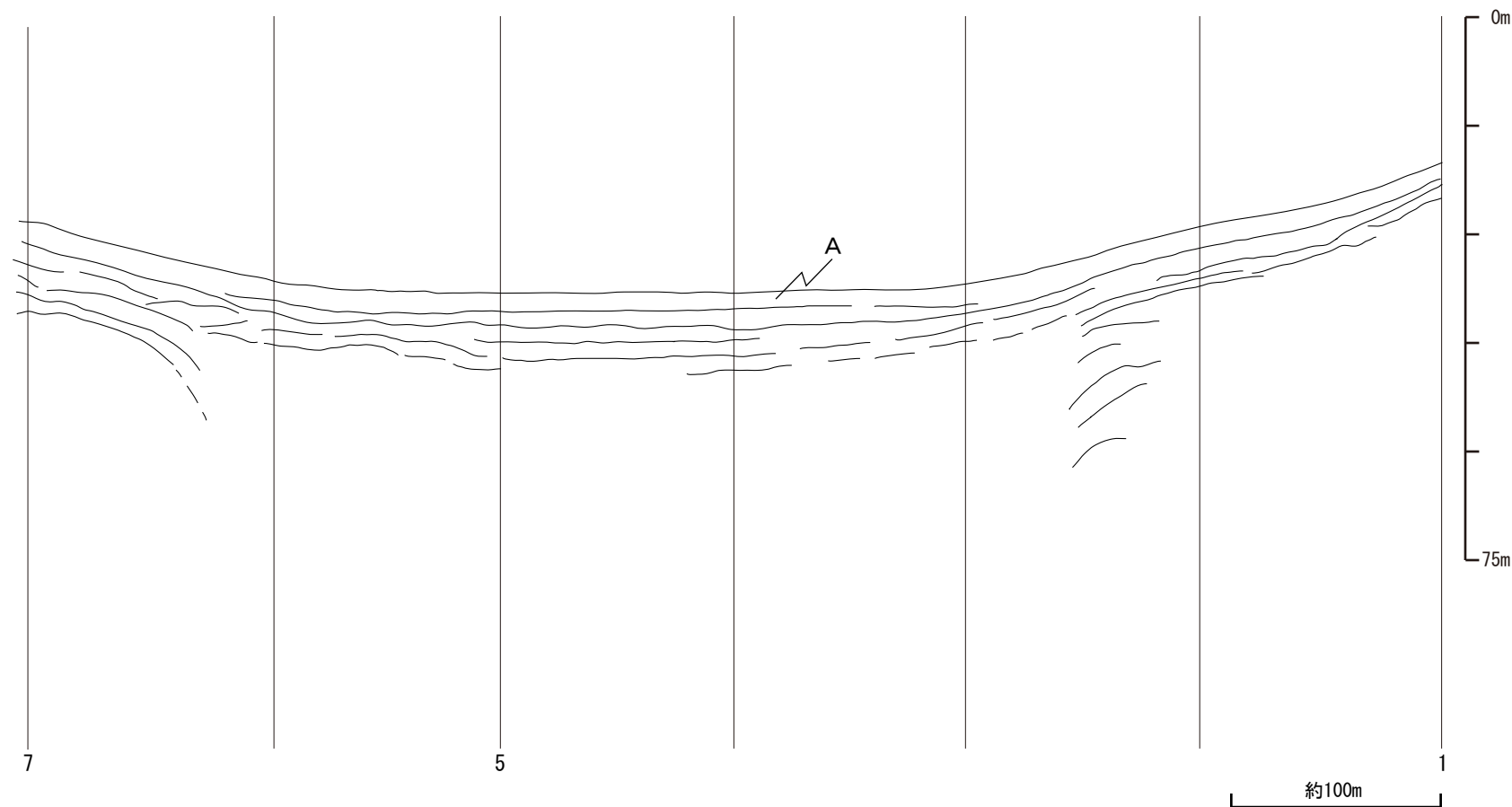
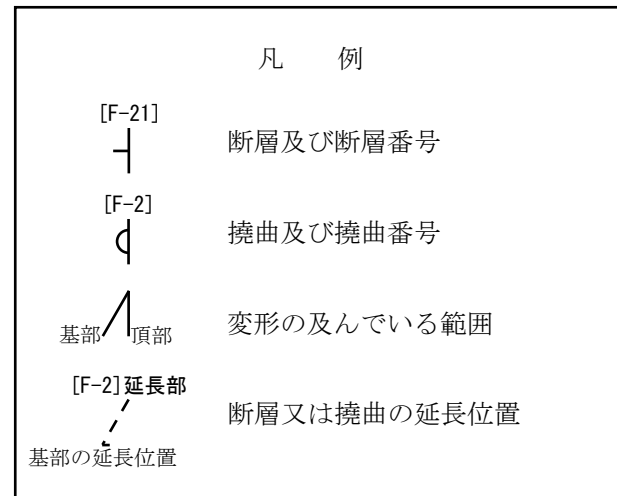
試料名	Libby Age (yrBP)	1σ 暦年代範囲	2σ 暦年代範囲
早瀬北_2. 168-2. 420m_キクザルガイ類	560 ± 20	1697calAD - 1775calAD (55. 1%)* 1785calAD - 1804calAD (13. 1%)*	1680calAD - 1827calAD (95. 4%)*
早瀬北_2. 455m_カキ類	1, 100 ± 20	1271calAD - 1313calAD (68. 2%)	1237calAD - 1332calAD (95. 4%)
大師堂南3_2. 5m_オオヘビガイ	610 ± 20	1663calAD - 1711calAD (68. 2%)	1650calAD - 1777calAD (90. 2%) 1783calAD - 1805calAD (5. 2%)
大師堂南3_2. 88-2. 74m-Y_ヤッコカンザシ	720 ± 20	1549calAD - 1634calAD (68. 2%)	1519calAD - 1659calAD (95. 4%)
大師堂南3_2. 88-2. 74m-K_キクザルガイ類	620 ± 20	1658calAD - 1696calAD (68. 2%)	1623calAD - 1729calAD (92. 5%) 1734calAD - 1759calAD (1. 8%) 1788calAD - 1802calAD (1. 1%)
大師堂南4_2. 591m_ヤッコカンザシ	620 ± 20	1659calAD - 1700calAD (68. 2%)	1630calAD - 1765calAD (93. 3%) 1785calAD - 1805calAD (2. 1%)
大師堂南4_2. 45m_オオヘビガイ	560 ± 20	1695calAD - 1775calAD (55. 5%)*	1678calAD - 1825calAD (95. 4%)*

*暦年校正曲線で校正可能な範囲を超える可能性があるため、表示された年代よりも新しい年代の可能性があるもの。

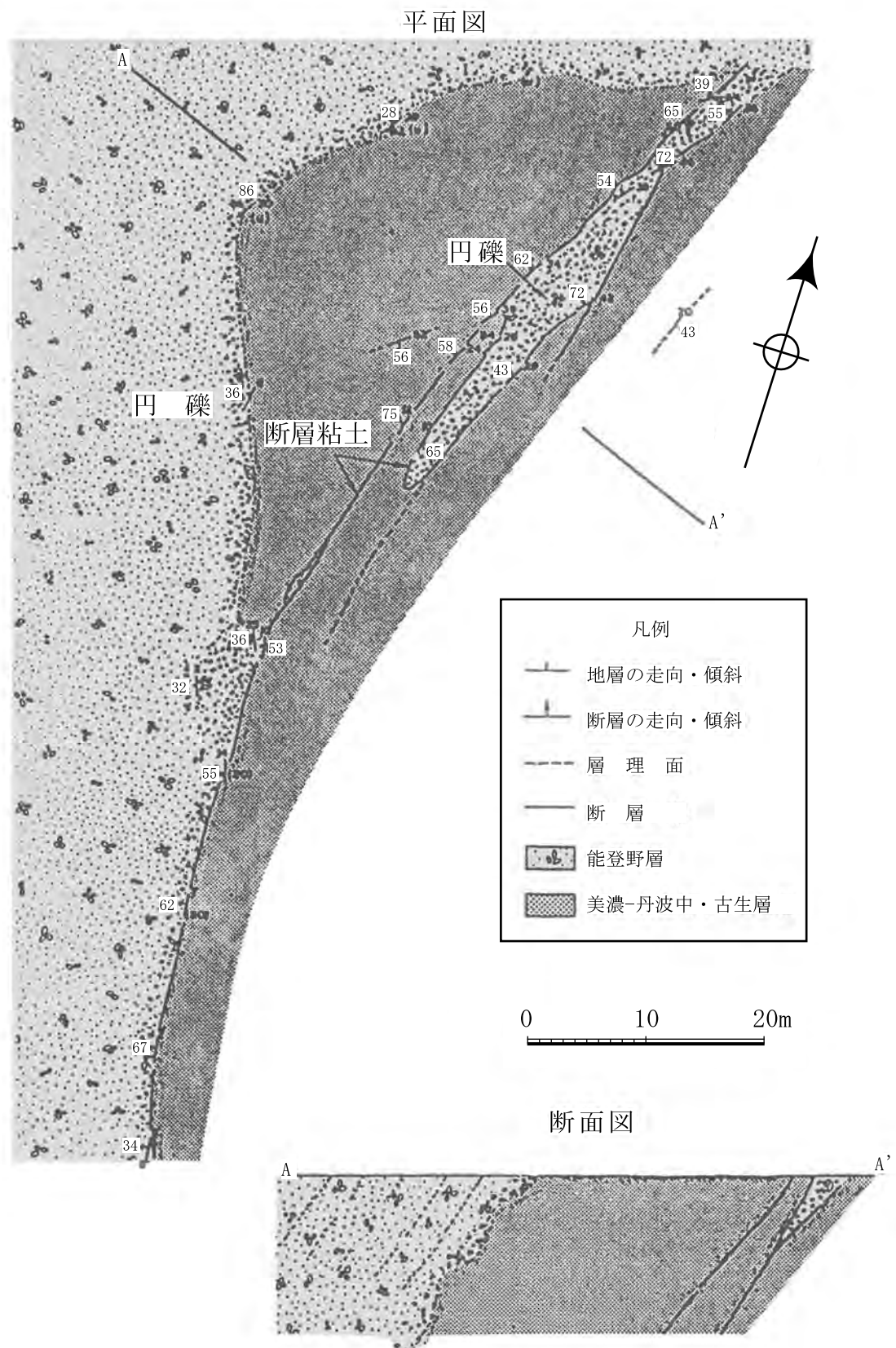
OxCal v4. 2. 3 Bronk Ramsey (2013)にてMarine13 marine curve (Reimer et al, 2013) を使用しmarine100%で校正



音波探査記録は、小松原他（2000）によるものである。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

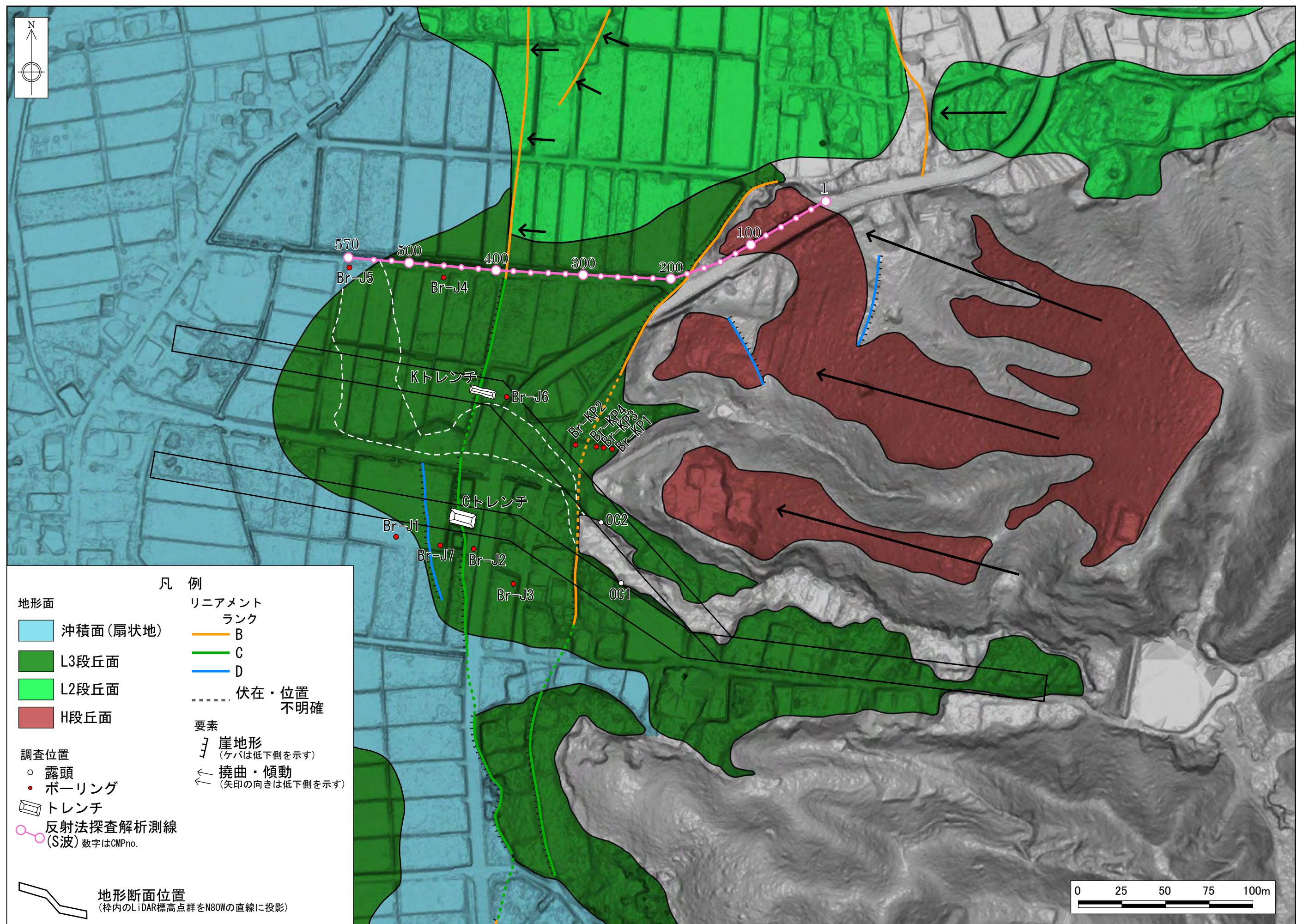


第7.4.2.178図 日向断層の海上音波探査記録及び地質断面図（H1）

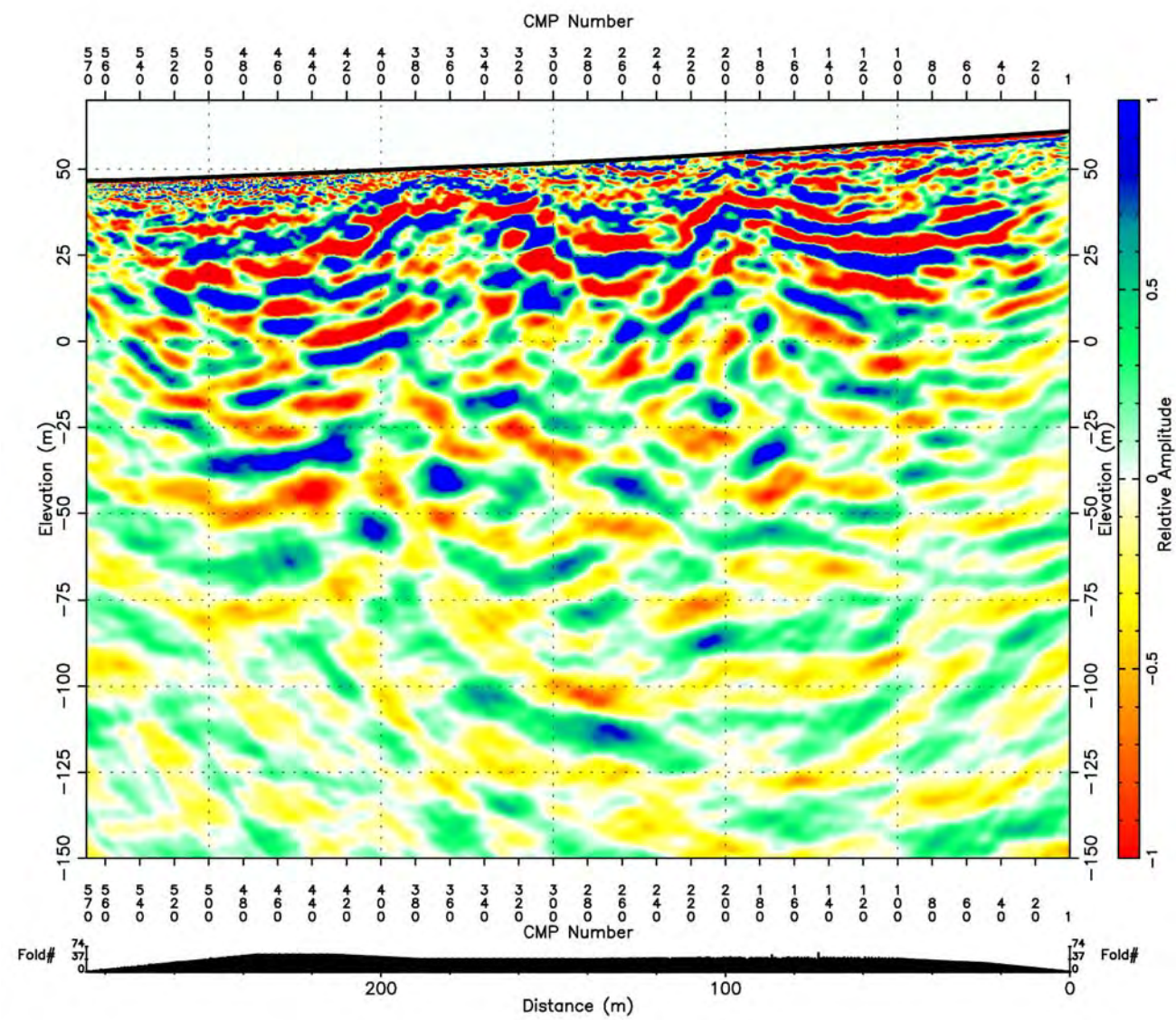


リニアメント付近に能登野層と美濃一丹波帯中・古生層を境する断層が認められ、幅数cm～十数cmの粘土状破碎部を伴っている。能登野層の層理面は断層に近づくに従って急傾斜となり、断層近傍では約60° 西側に急傾斜している。

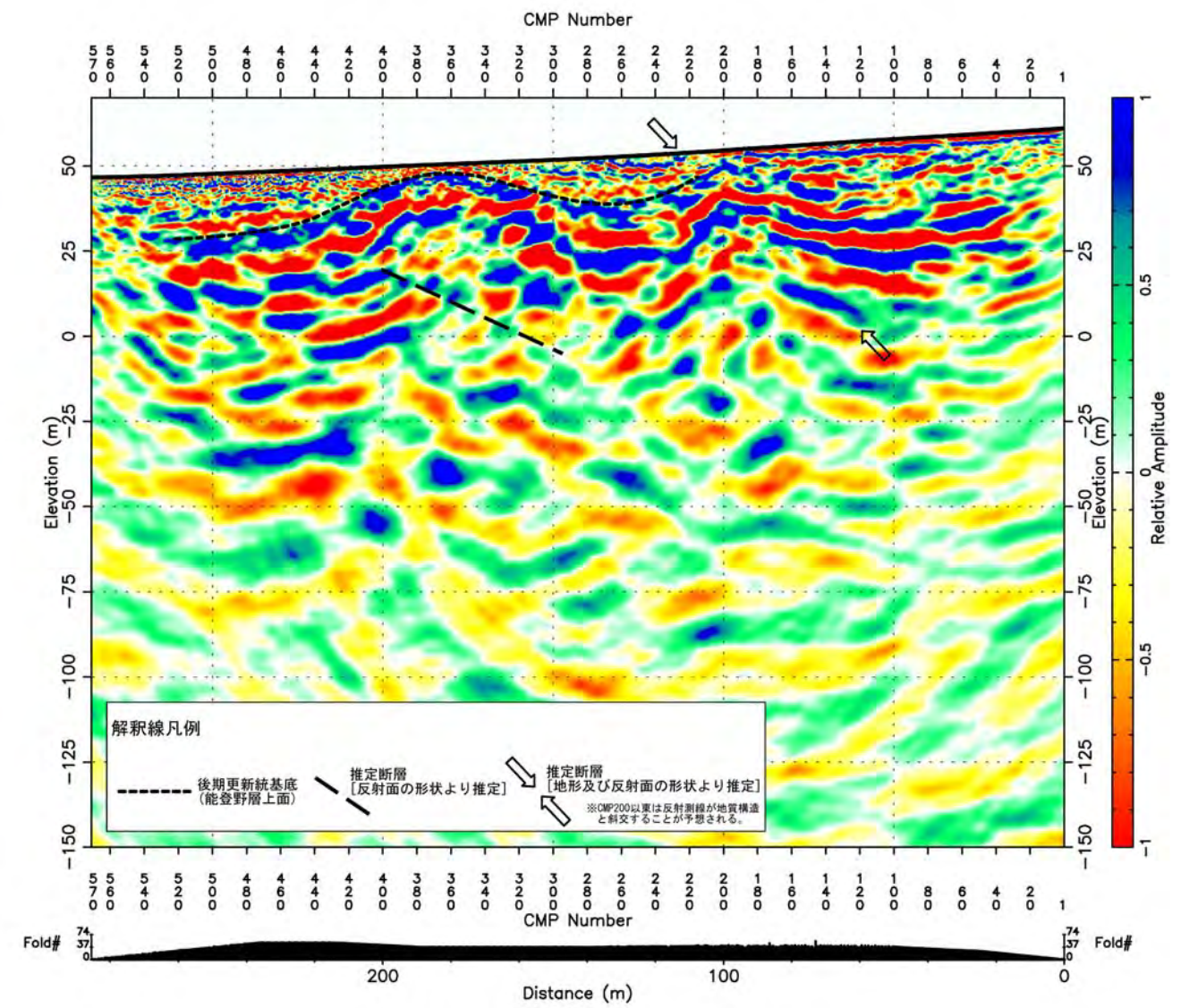
第7.4.2.179図 三方断層 相田南方の露頭スケッチ (Loc.M-1)



第7.4.2.180図 三方断層 成願寺付近の調査位置図
6-7-4-530

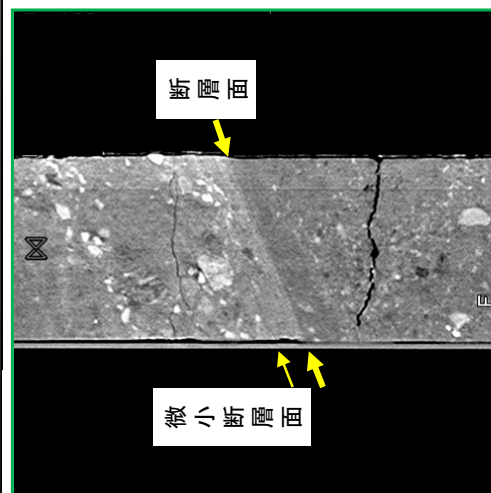
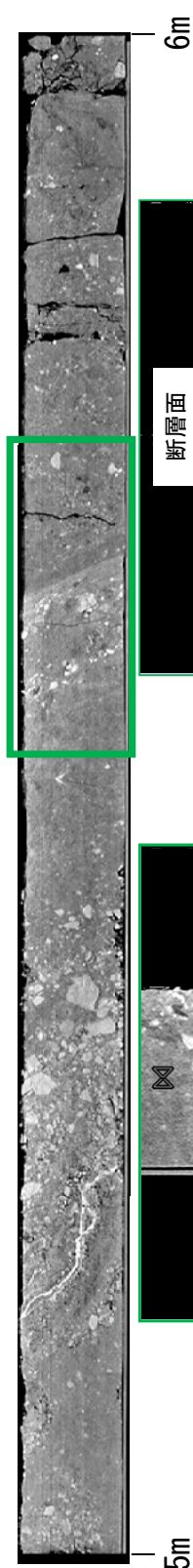
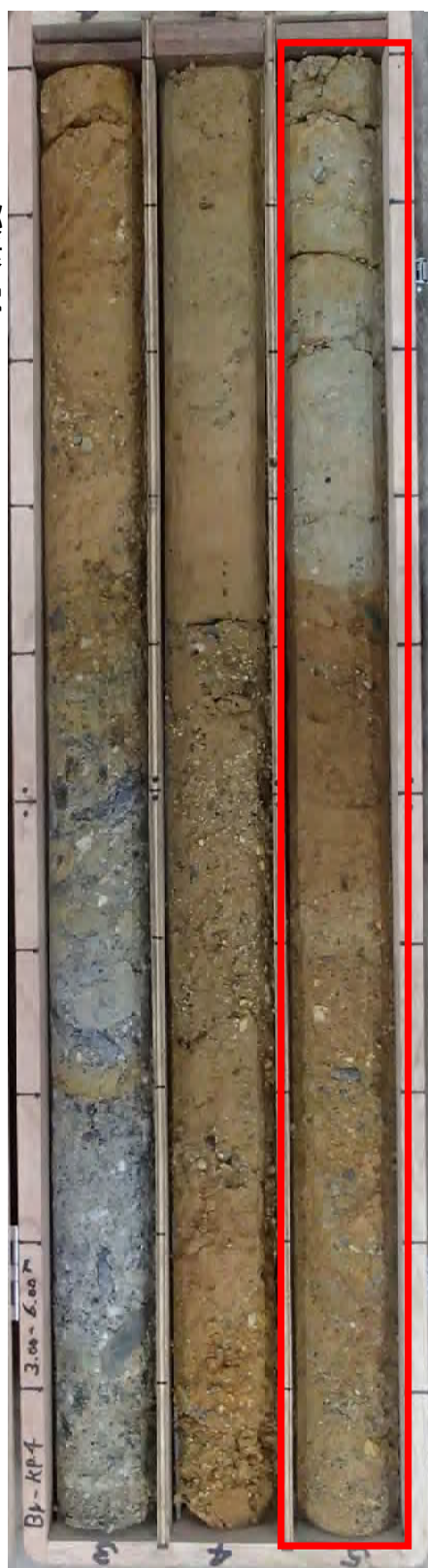


S波反射法地震探査解析結果(深度断面)

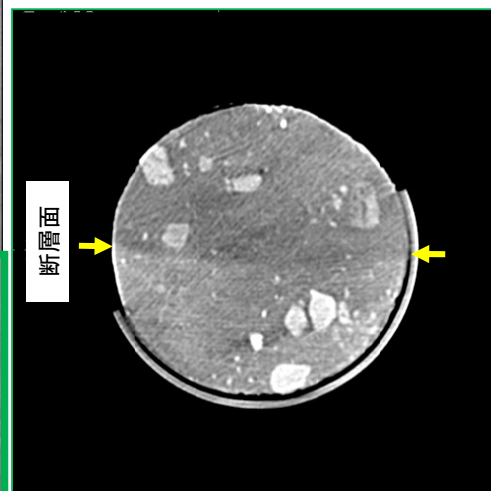


S波反射法地震探査解析結果(深度断面)

Br-KP4孔 深度5.00-6.00m



最大傾斜方向の断面



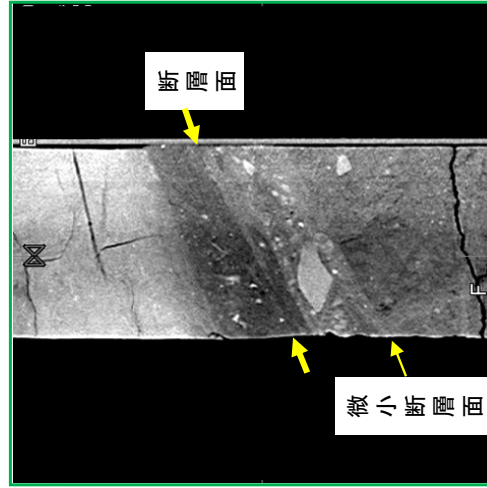
コア軸直交方向の断面

逆断層成分を示す変形指標が顕著である。断層面が低角であるため、横ずれ成分は不明瞭である。

断層面を挟んだ幅2cmで変形指標が顕著である。断層面周辺には微小断層面が認められる。断層面の下盤側に幅1cm程度の低密度部が認められる。

第7.4.2.182図 (1) 三方断層 成願寺付近のボーリング調査結果 (1)

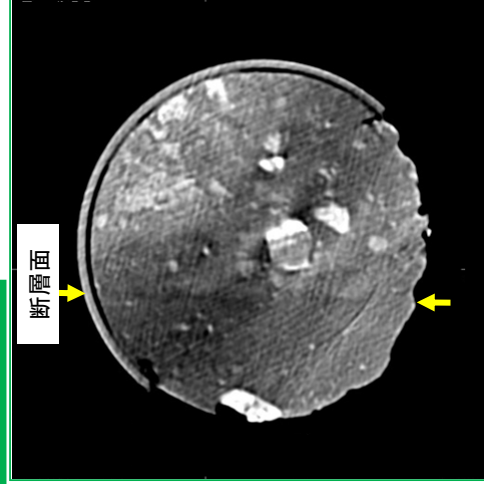
Br-KP3 孔 深度7.00-8.00m



最大傾斜方向の断面

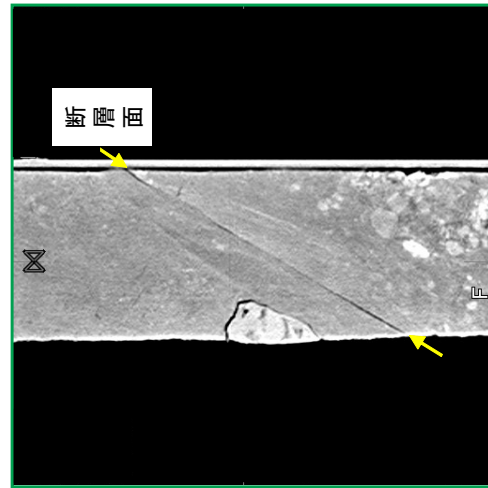
逆断層成分を示す変形指標が顕著である。断層面が低角であるため、横ずれ成分は不明瞭である。

断層面を挟んだ幅約5cmで変形指標が顕著である。断層面周辺には微小断層面が認められる。断層面上盤側に幅10cm程度の低密度部が認められる。

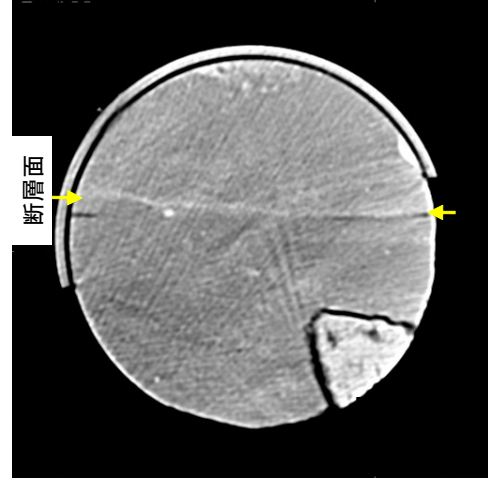


コア軸直交方向の断面

Br-J6孔 深度39.00～40.00m



最大傾斜方向の断面

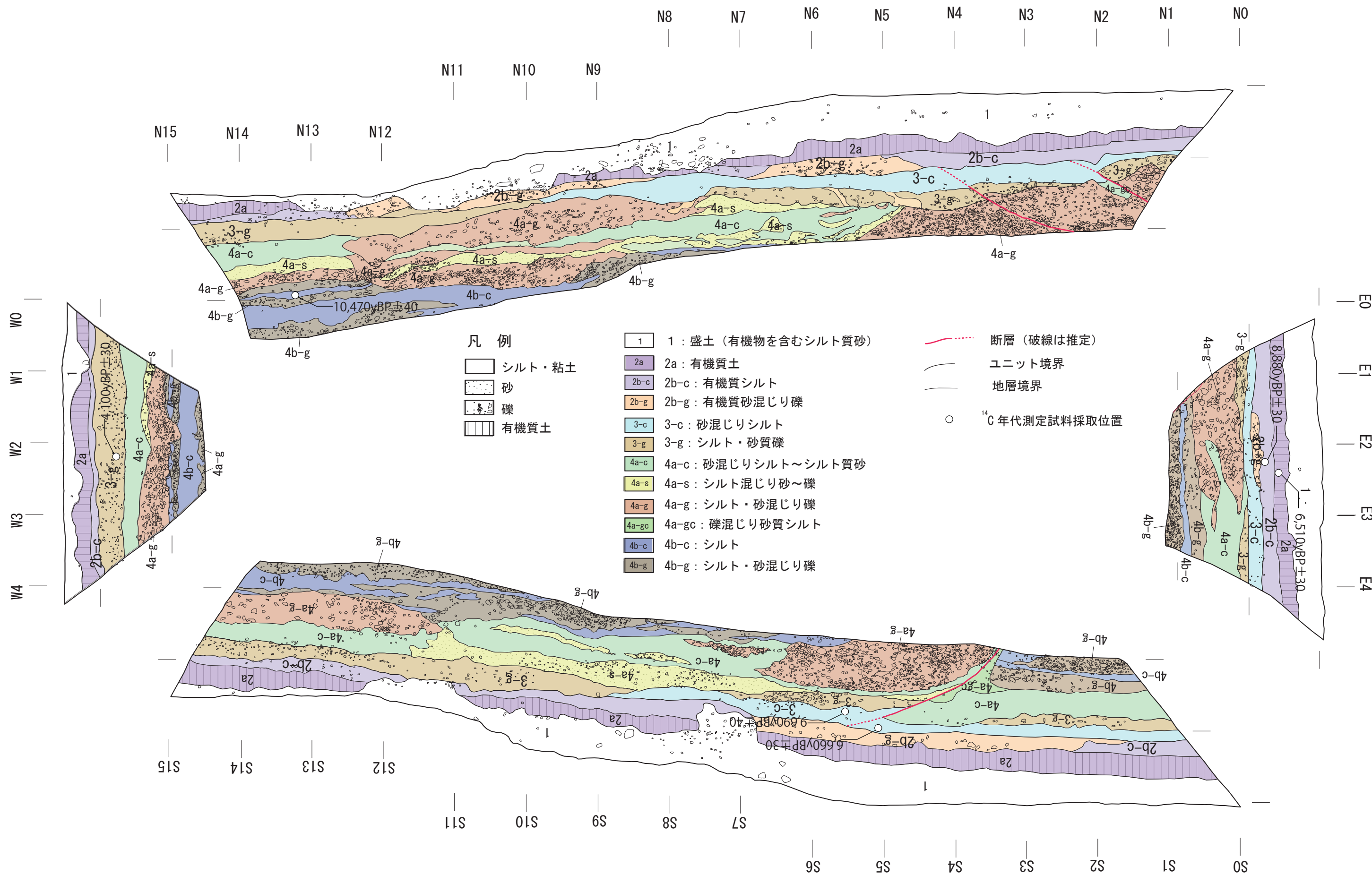


コア軸直交方向の断面

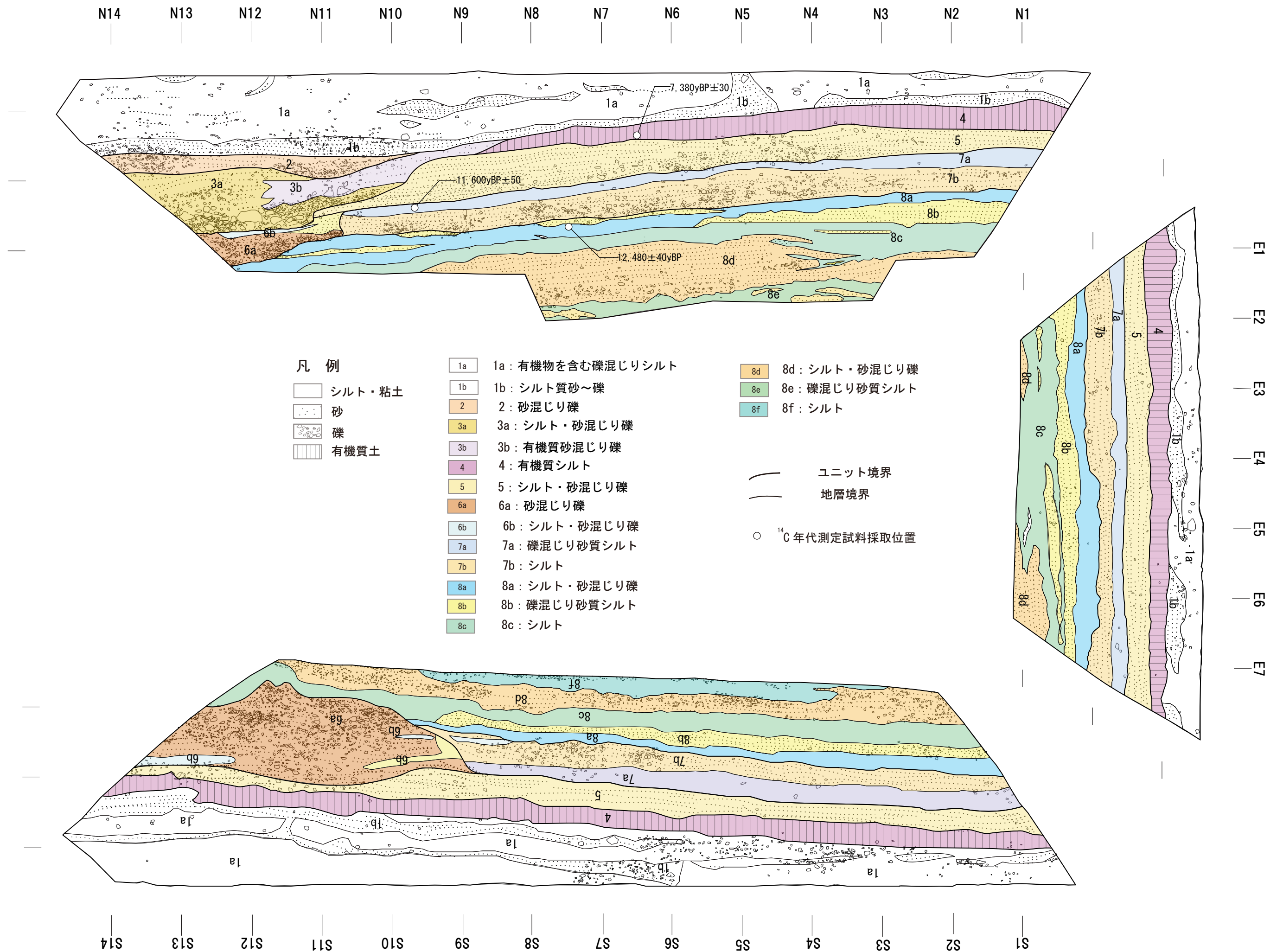
右横ずれ逆断層成分を示す変形指標が認められる。

断層の上盤側1～2cmの範囲で変形指標が明瞭である。断層近傍3～4cmで密度が低下する。断層面の下盤側30cmの範囲で砂礫が高度に傾斜している。

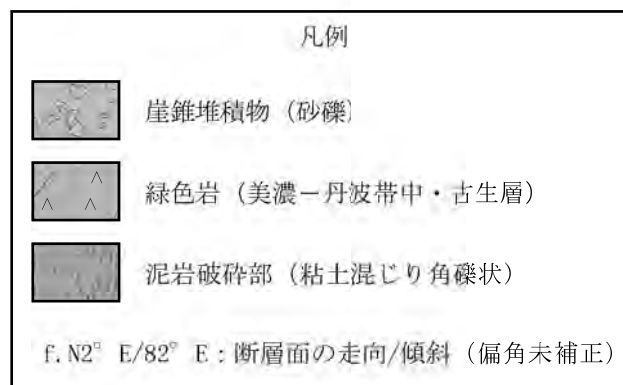
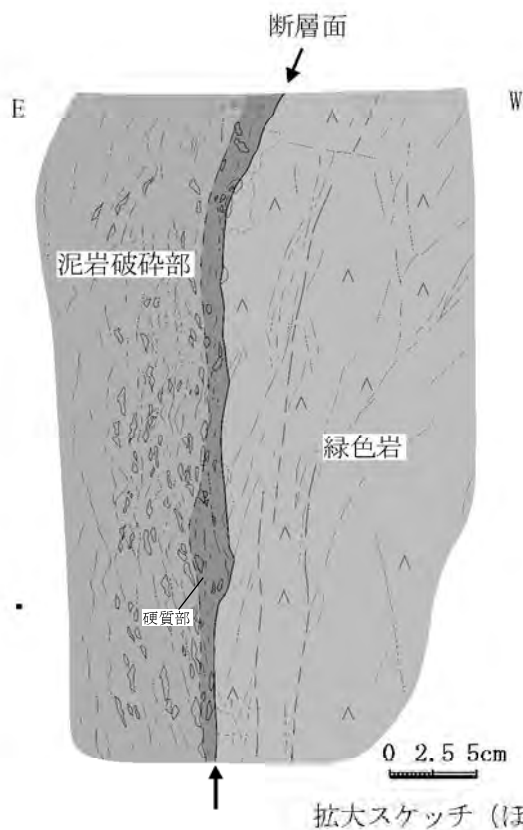
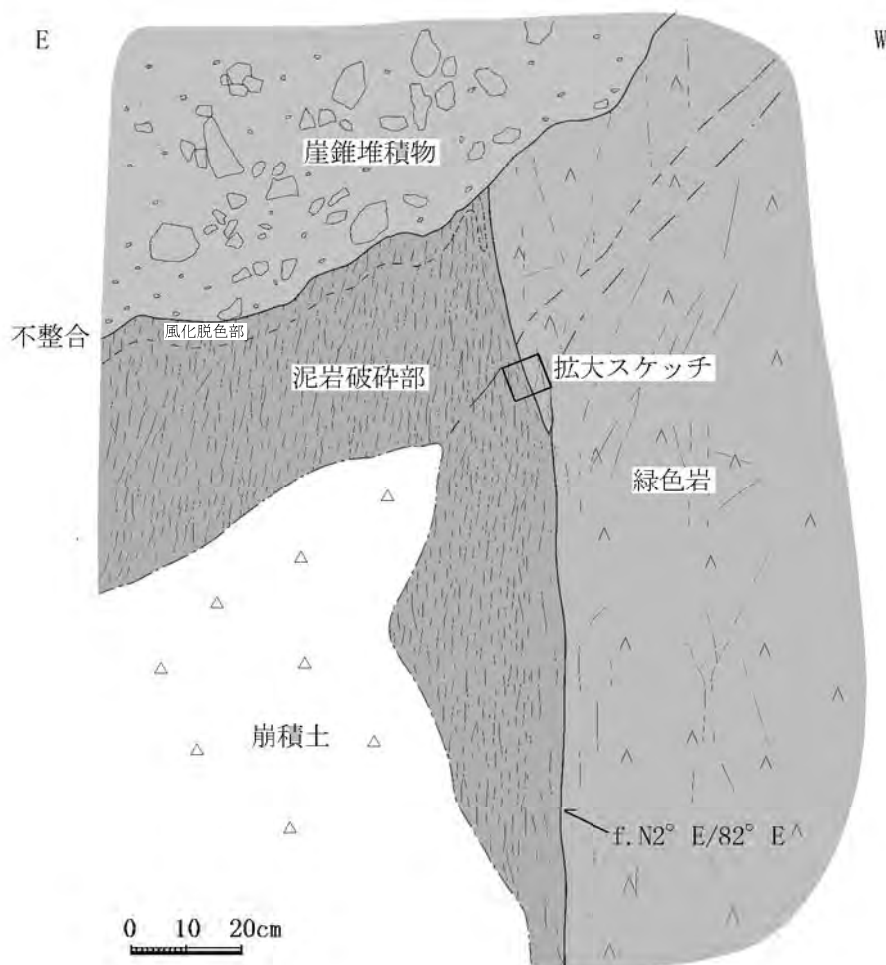
第7.4.2.182図 (3) 三方断層 成願寺付近のボーリング調査結果 (3)



第7.4.2.184図 三方断層 成願寺付近のトレンチ調査結果 (Kトレンチ)

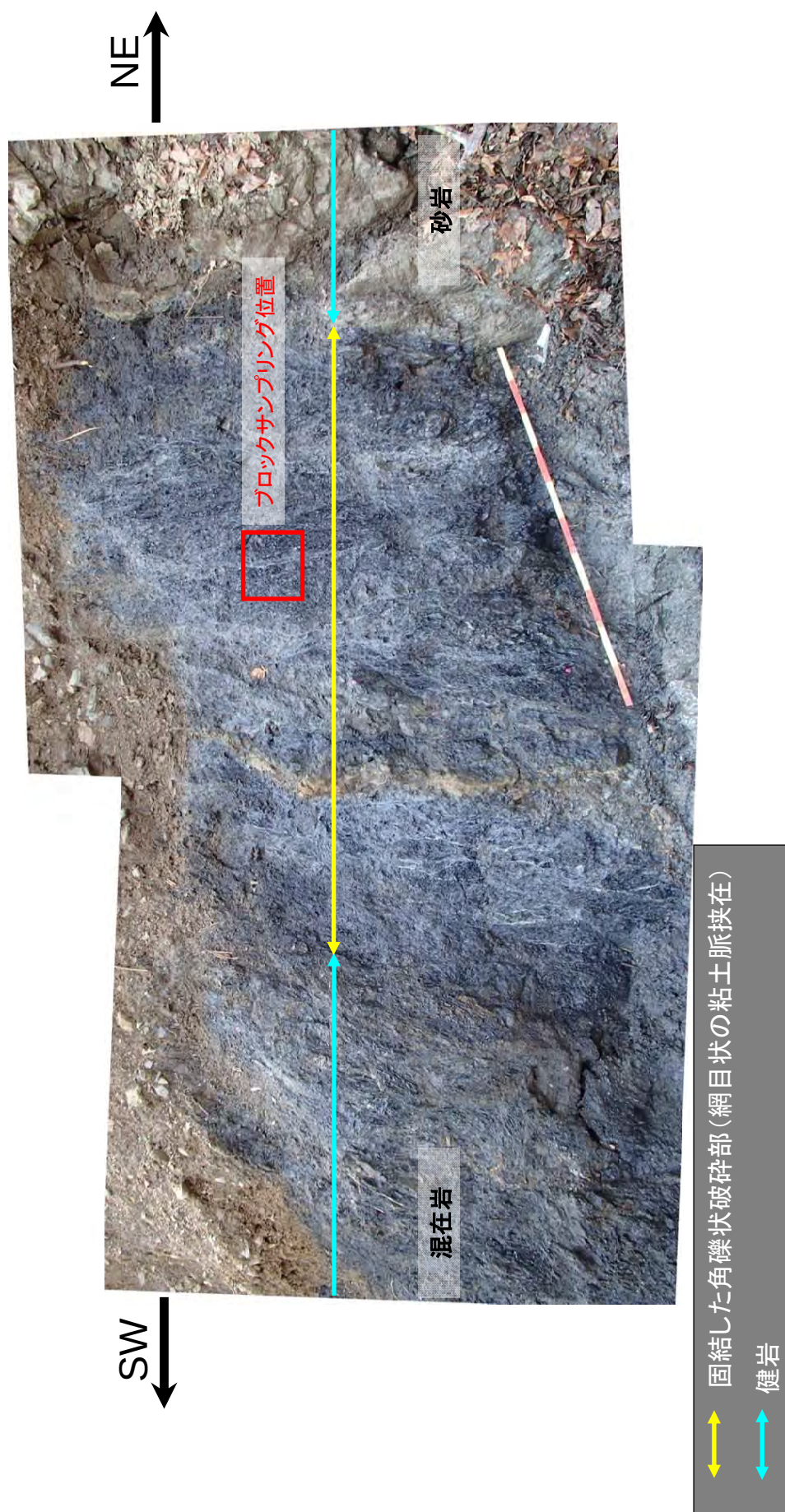


第7.4.2.185図 三方断層 成願寺付近のトレンチ調査結果（Cトレンチ）

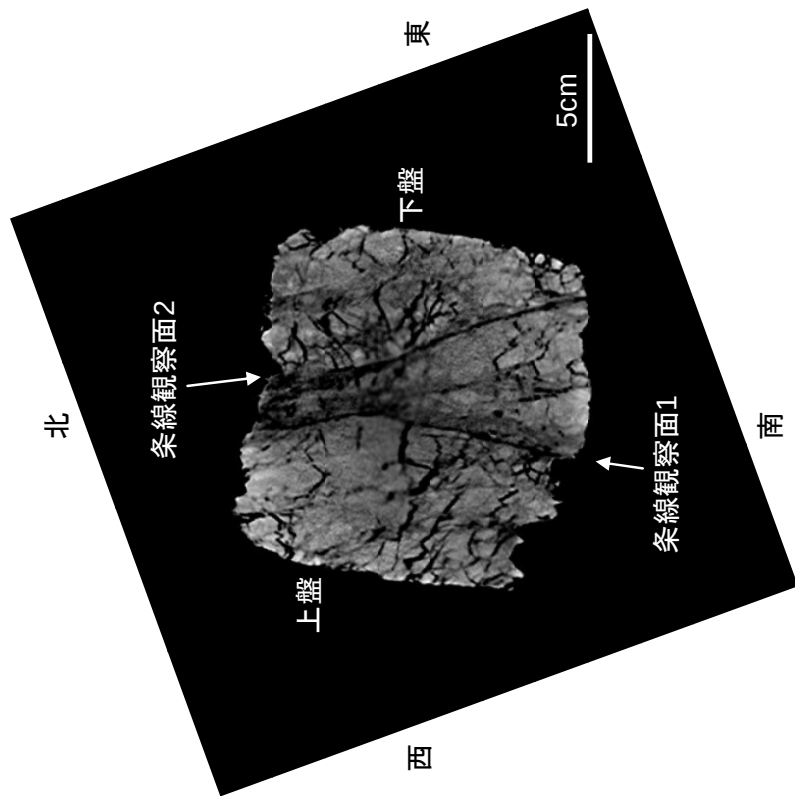


美濃-丹波帯中・古生層の緑色岩と泥岩を境する断層露頭が認められる。泥岩は幅数mにわたり広く破碎されているが、断層面は湾曲し、緑色岩との境界面も凹凸しており、第四紀の活動を示唆する平面的で連続性の良い断層面は認められない。

第7.4.2.186図 三方断層 新道北東方の露頭スケッチ (Loc.M-2)



幅約2.5mの固結した角礫状破砕部中に網目状に分布する粘土脈が認められ、露頭内で粘土脈端部が確認できるものが多い。
認められた粘土脈のうち、最も明瞭・直線的な粘土脈部分でブロックをサンプリングし、CT・条線観察を実施した。



水平図

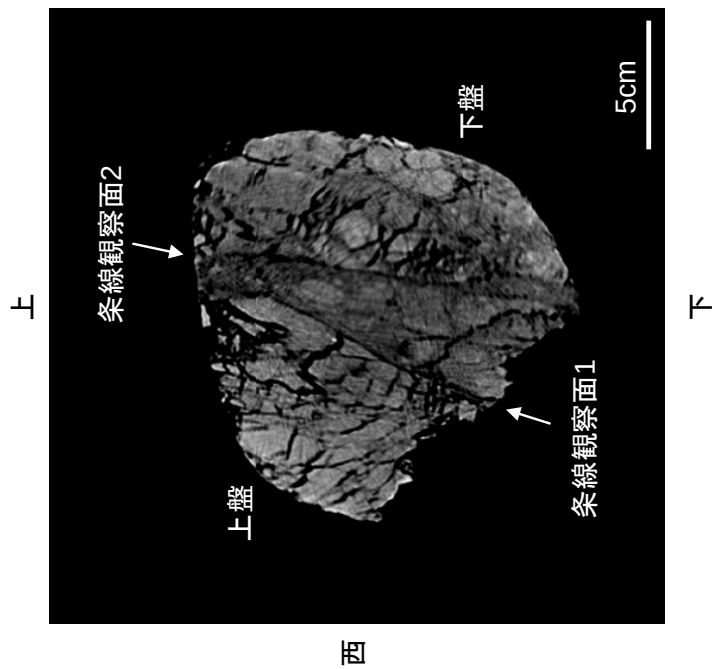
面構造の走向傾斜:TN20W/70W

縦ずれ成分:不明,横ずれ成分:不明

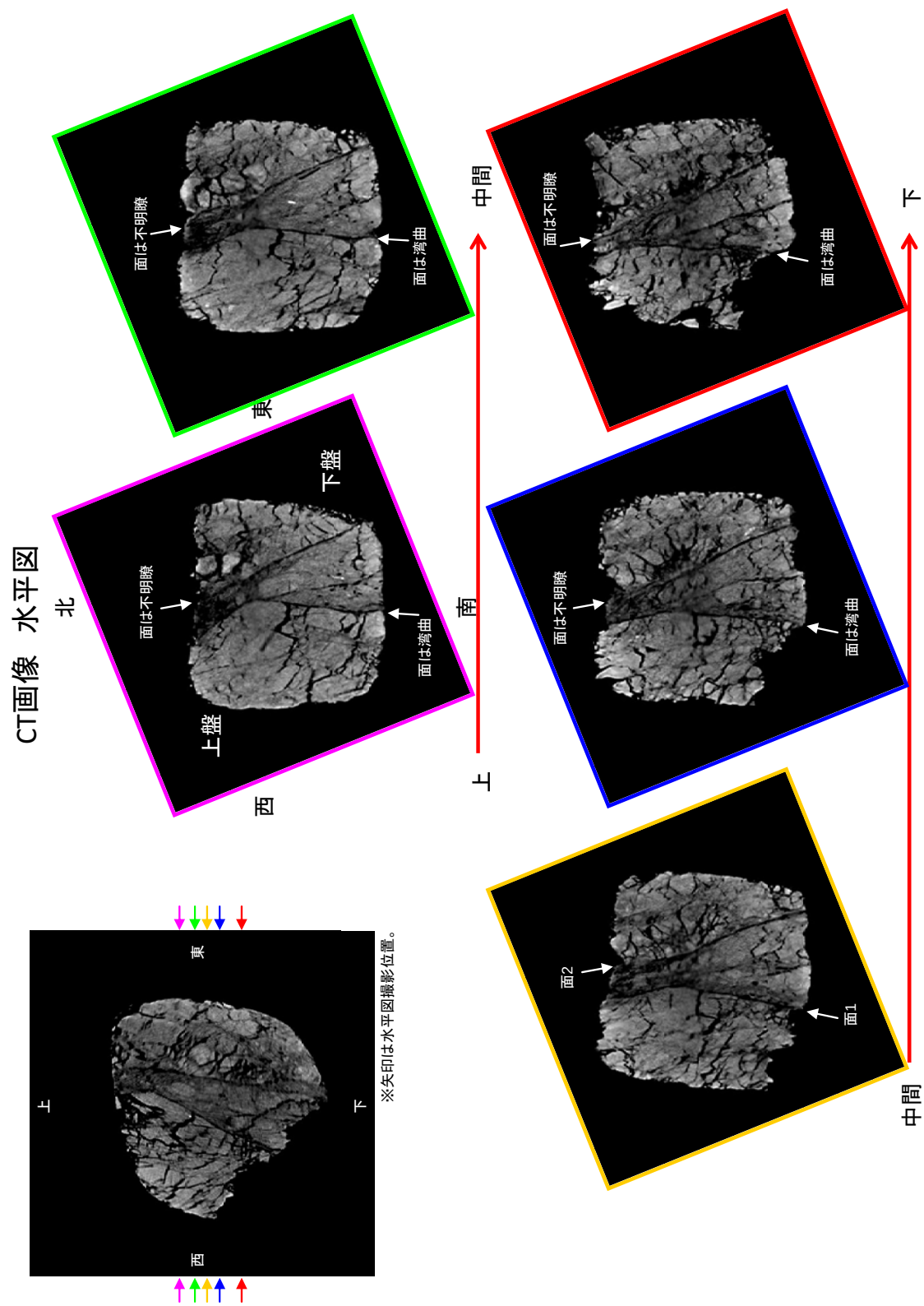
ブロック中には2条の湾曲した面が認められる。

この2条の面に挟まれた部分はやや密度が低下する。

密度低下部中の構造はランダムである。

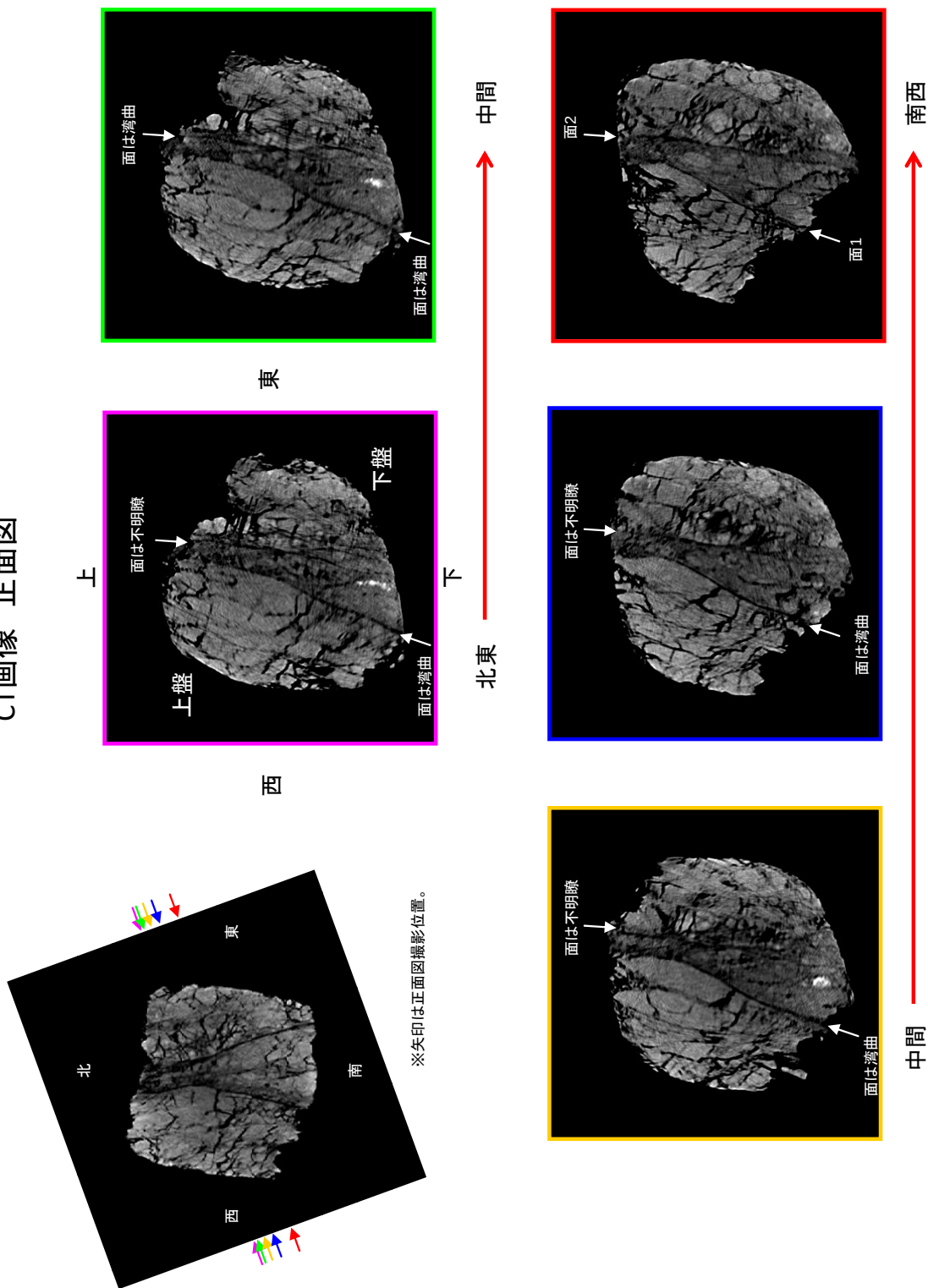


正面図



- 複合面構造は認められない。面のような構造はあるが、面1は上の断面では大きく湾曲し、直線性に乏しい。
- 面2は下の断面では不明瞭で連続性に乏しい。

CT画像 正面図



・複合面構造は認められない。面のような構造はあるが、面1は北東の断面では大きく湾曲し、直線性に乏しくなる。
 ・面2は北東の断面では不明瞭で連続性に乏しくなる。

条線観察面1



下盤上面



面の状況

条線は認められない。

第7.4.2.189図 (1) 三方断層 新道北東方の破碎部 ブロック試料の
条線観察結果 (Loc.M-2-1) (1)

条線観察面2



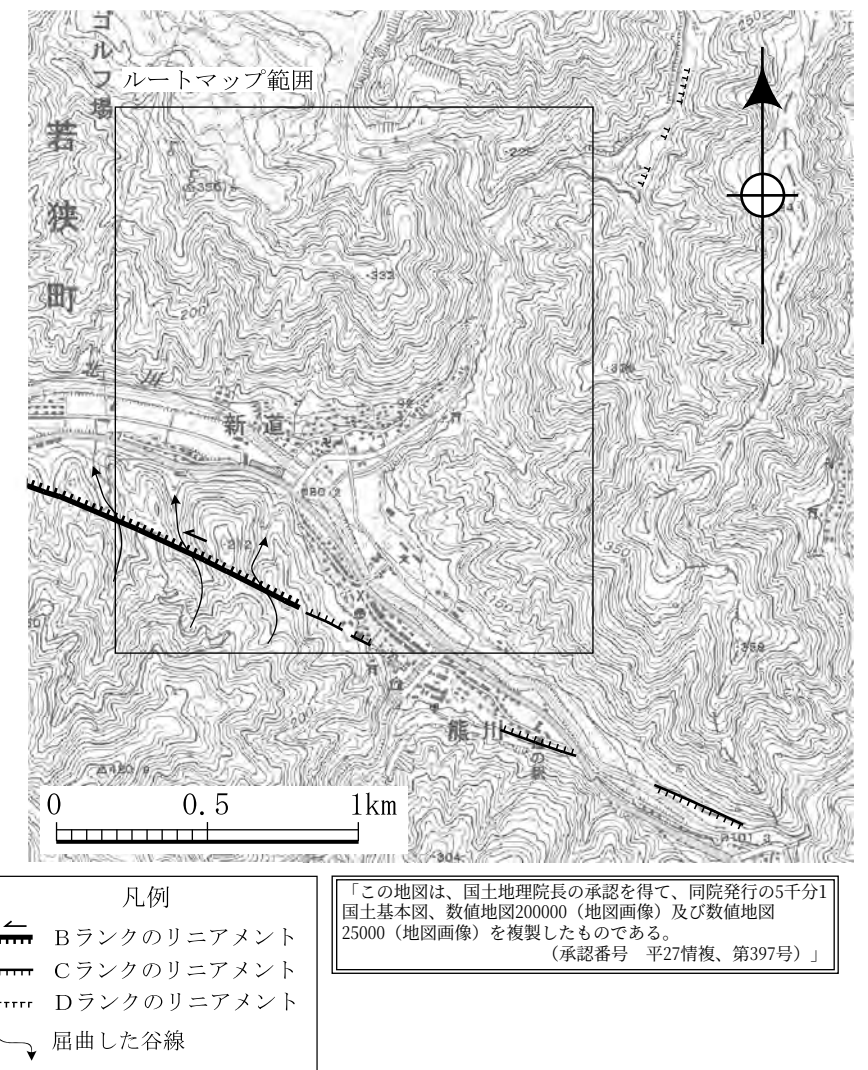
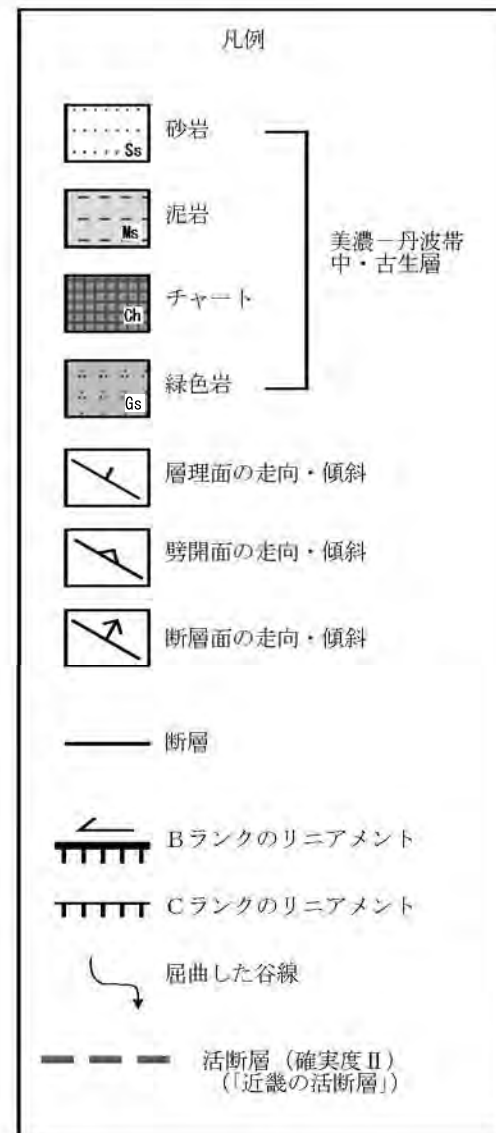
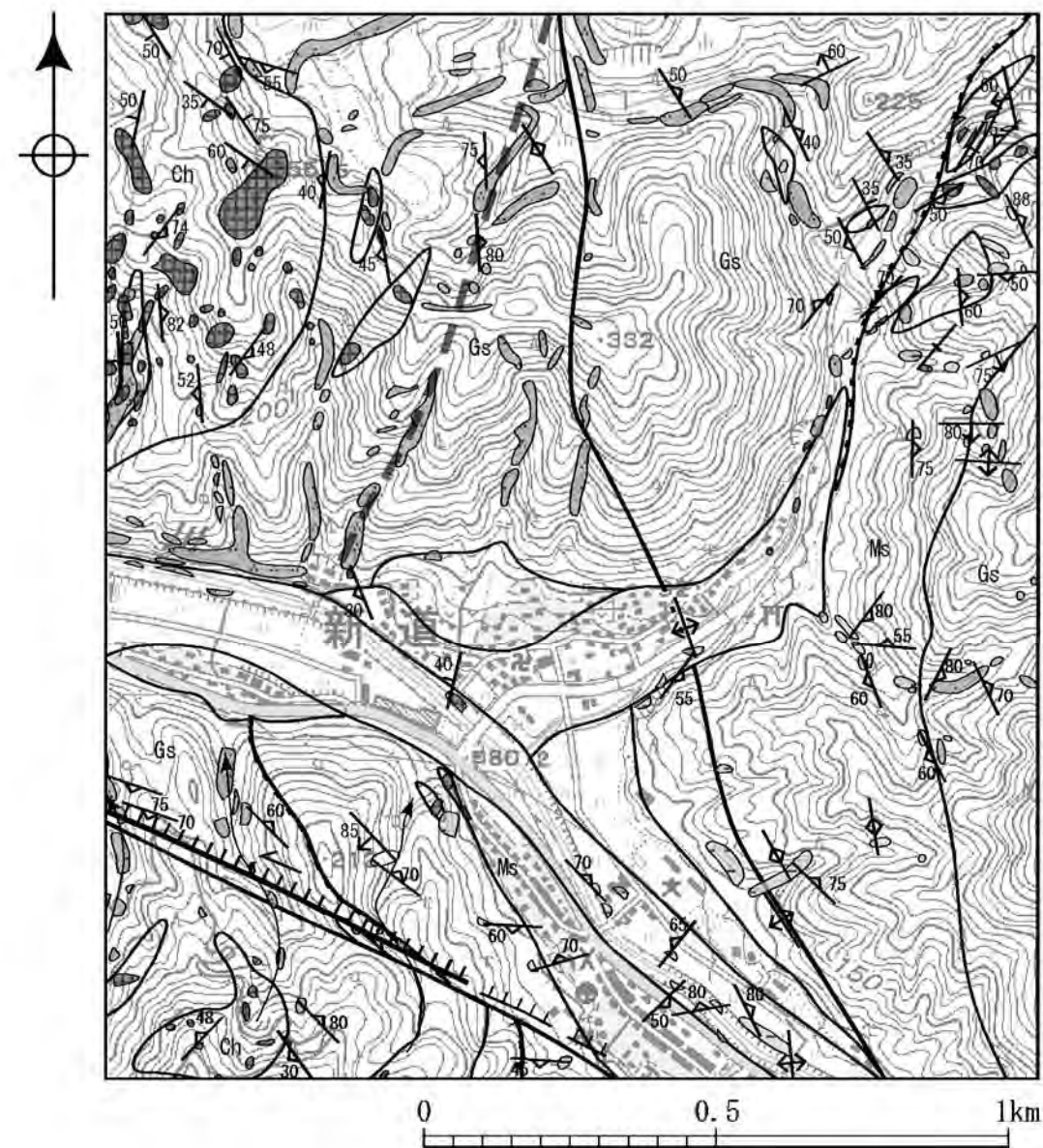
下盤上面



面の状況

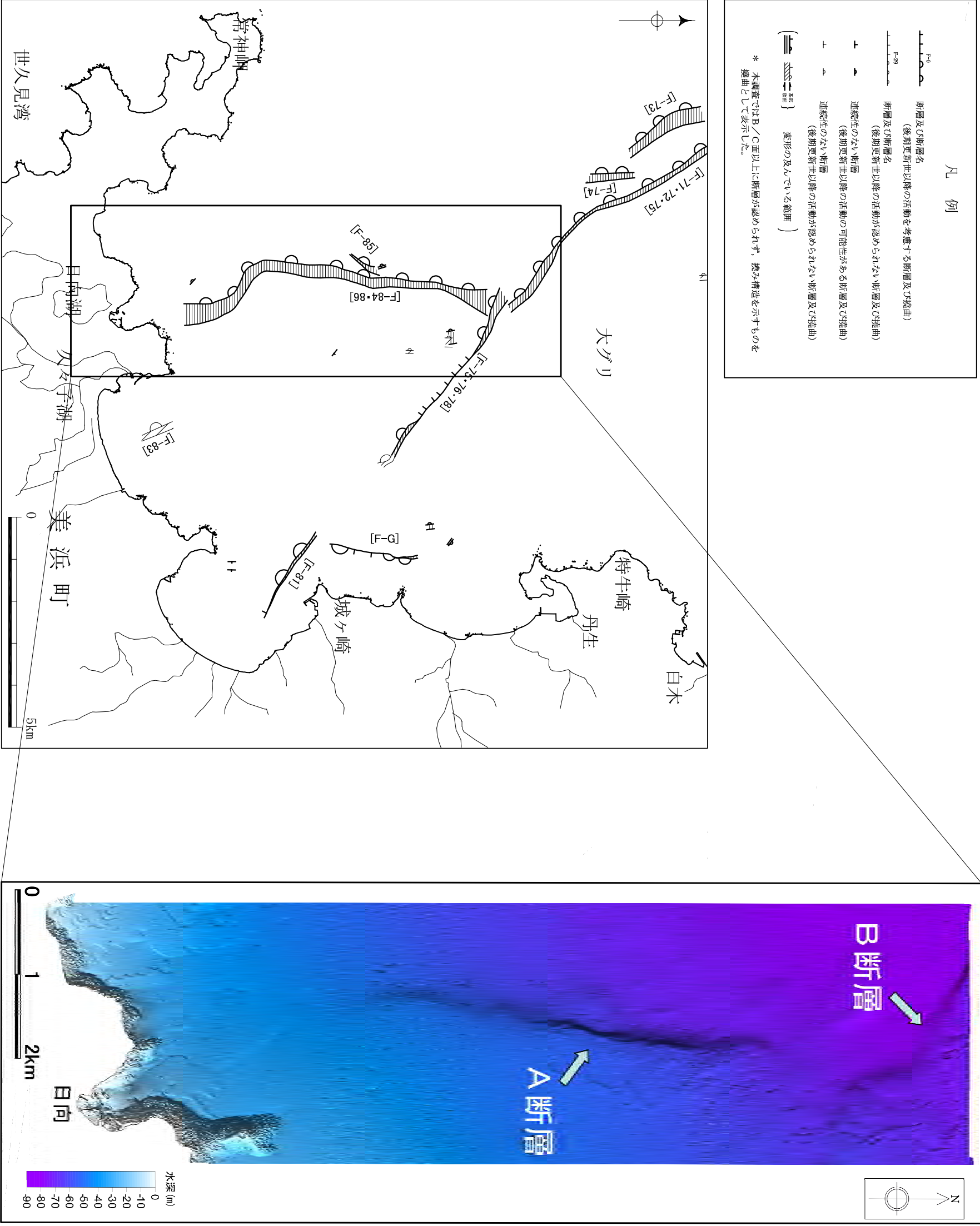
条線は認められない。

第7.4.2.189図 (2) 三方断層 新道北東方の破碎部 ブロック試料の
条線観察結果 (Loc.M-2-1) (2)



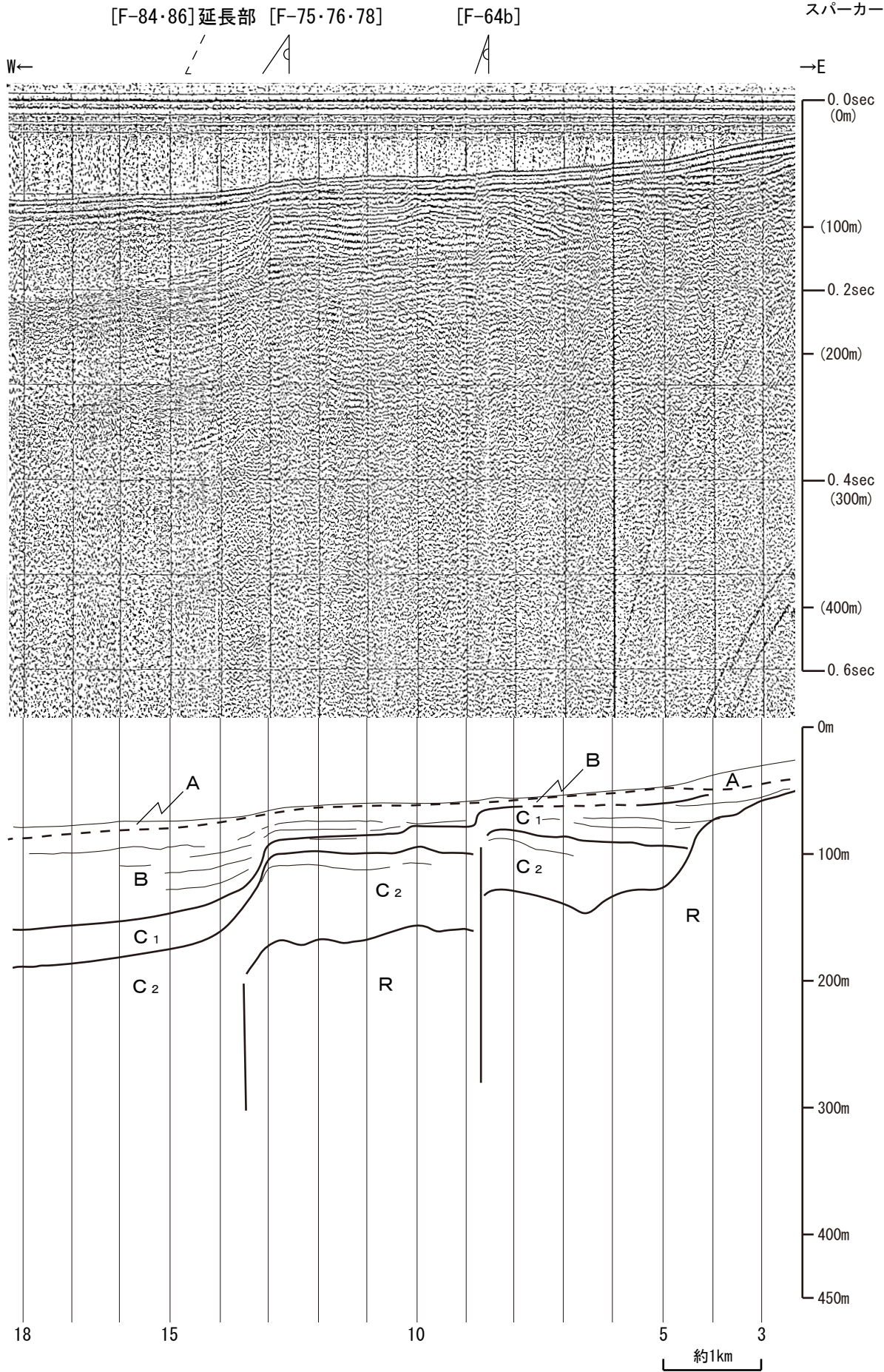
第7.4.2.190図 三方断層 新道付近の詳細ルートマップ (Loc.Mt-1)

高さ強調：15倍
光源：真東，仰角40°



第7.4.2.191図 A断層周辺の海底地形調査結果

No. 40-2
海保(1980)
スーパーカー



音波探査記録は、海上保安庁水路部（現海上保管庁海洋情報部）の沿岸の海の基本図「若狭湾東部」の原資料である。
地質断面図は、申請者の解釈によるものである。

凡 例

[F-21] 断層及び断層番号

[F-2] 撓曲及び撓曲番号

基部 頂部 変形の及んでいる範囲

[F-2]延長部 断層又は撓曲の延長位置

基部の延長位置

凡 例

A層 完新統

B層 上部更新統

C層 最上部鮮新統～中部更新統

C1

C2

C3

C4

D層 下部～上部鮮新統

R層 先鮮新統～最下部鮮新統

断層

推定断層

地層境界

推定地層境界

V. E. ≒ 14

0°43'

1°29'

2°22'

3°26'

4°52'

7°03'

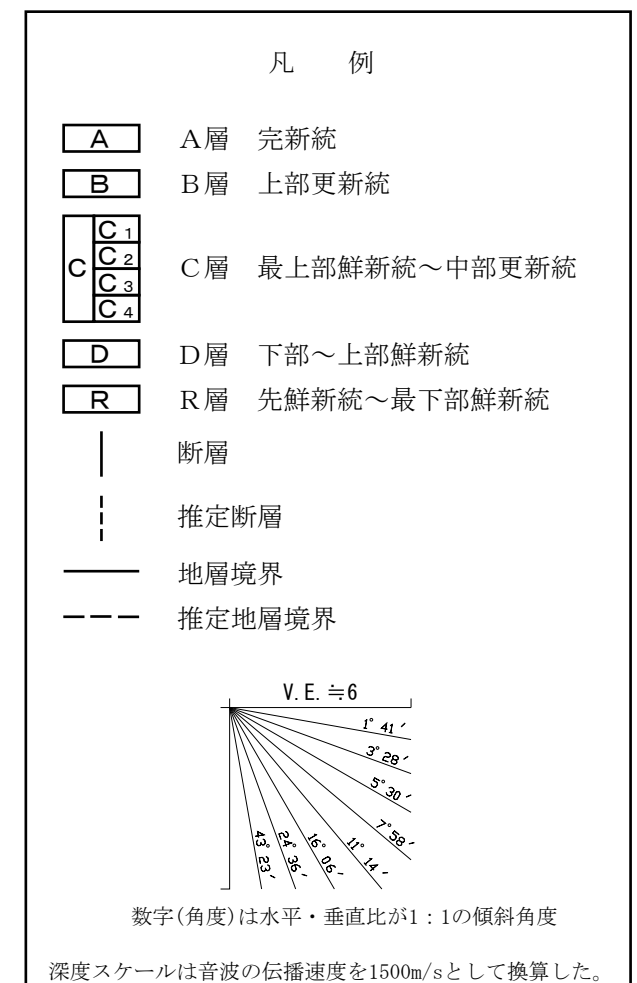
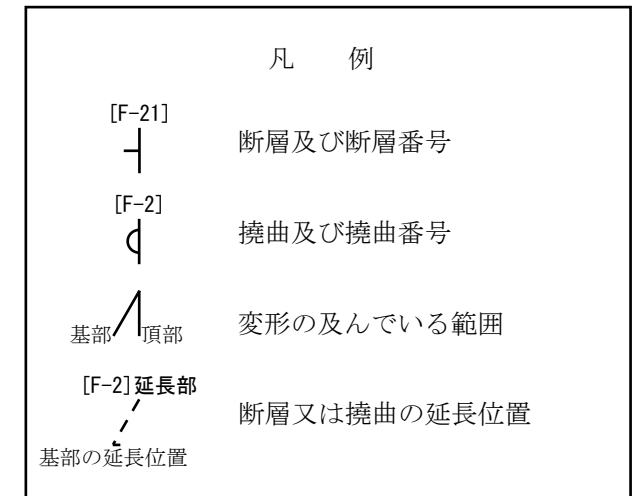
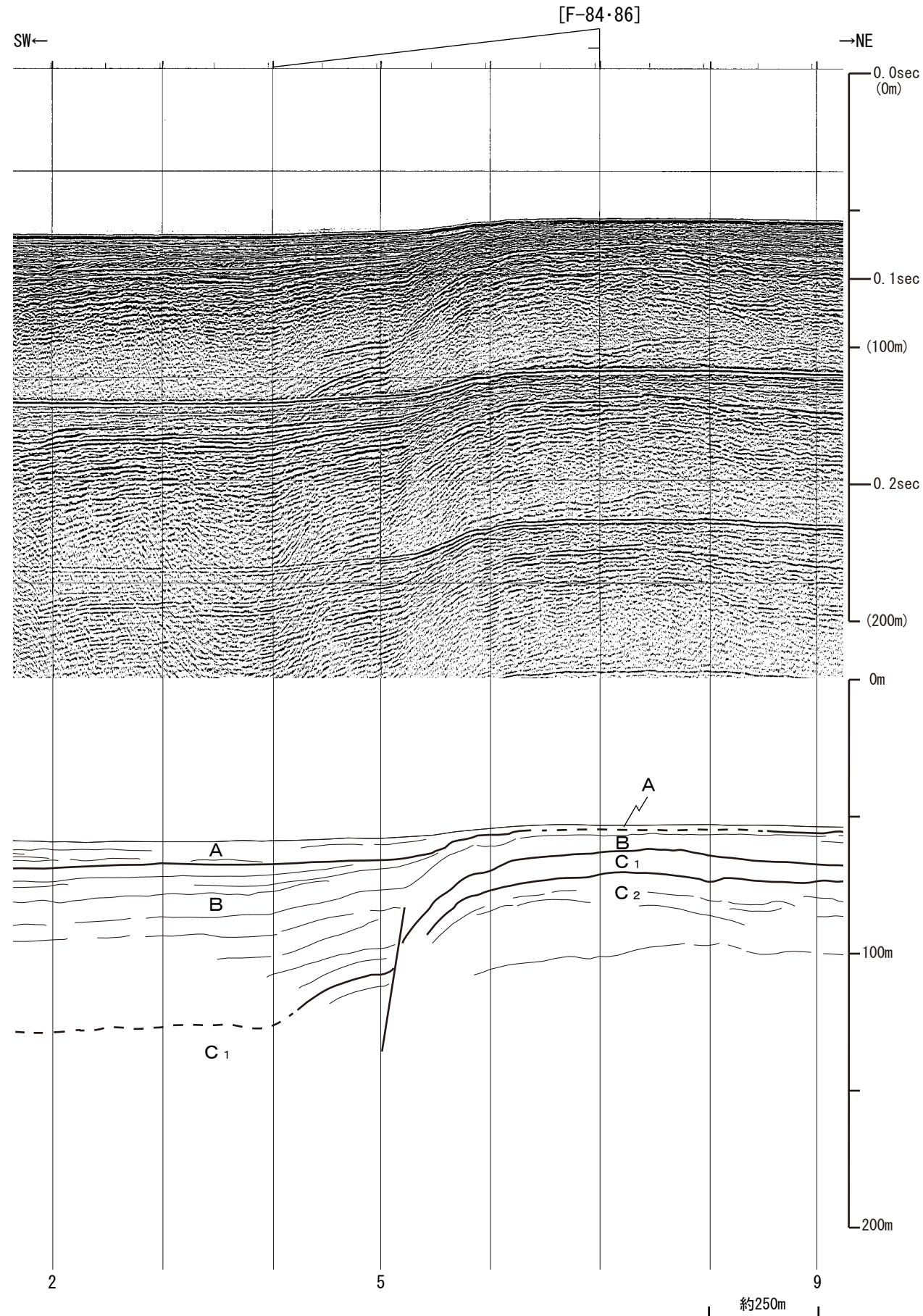
1°05'

6°03'

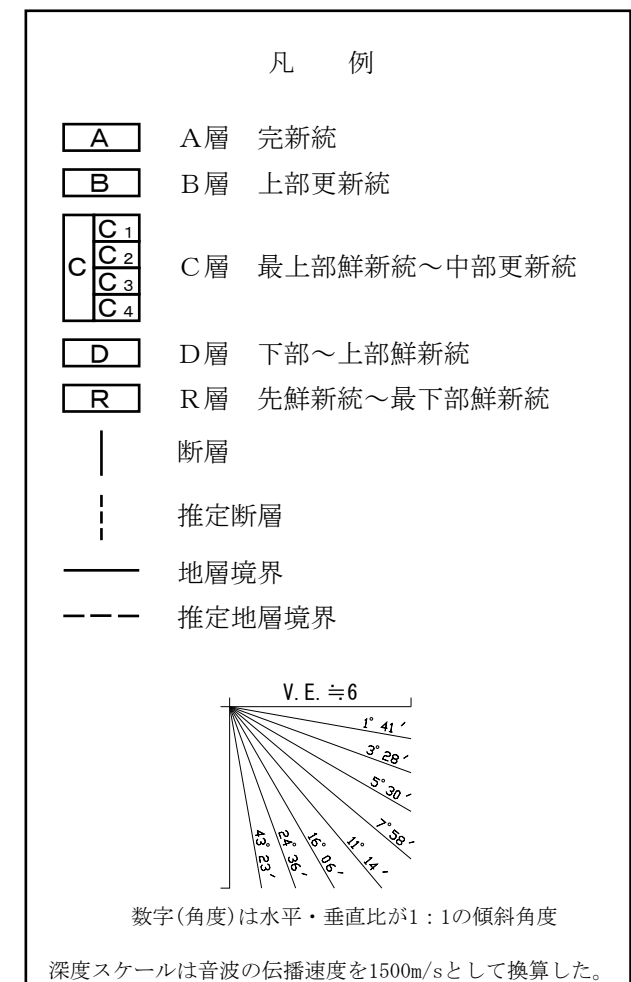
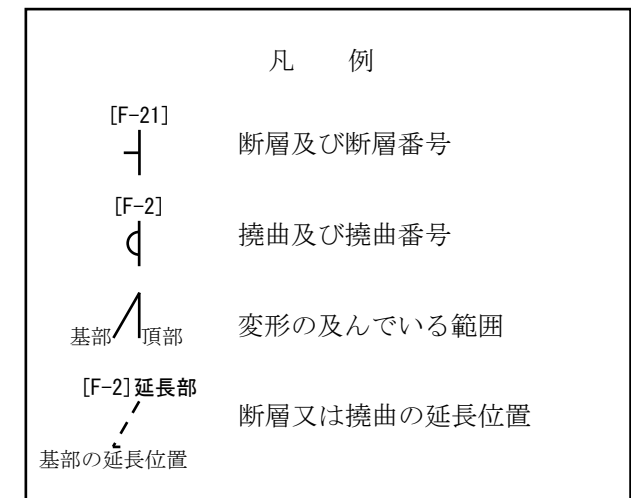
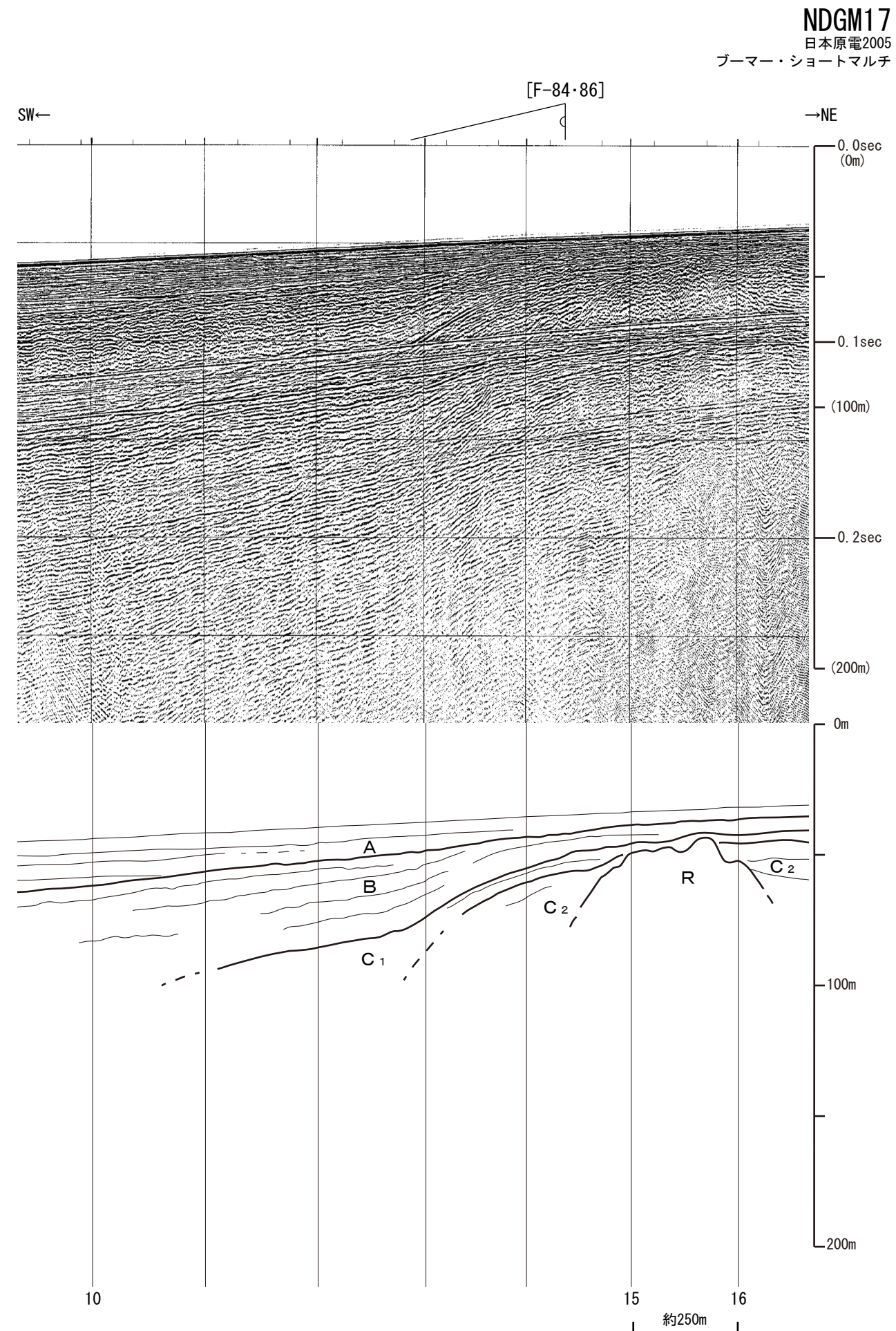
数字(角度)は水平・垂直比が1：1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

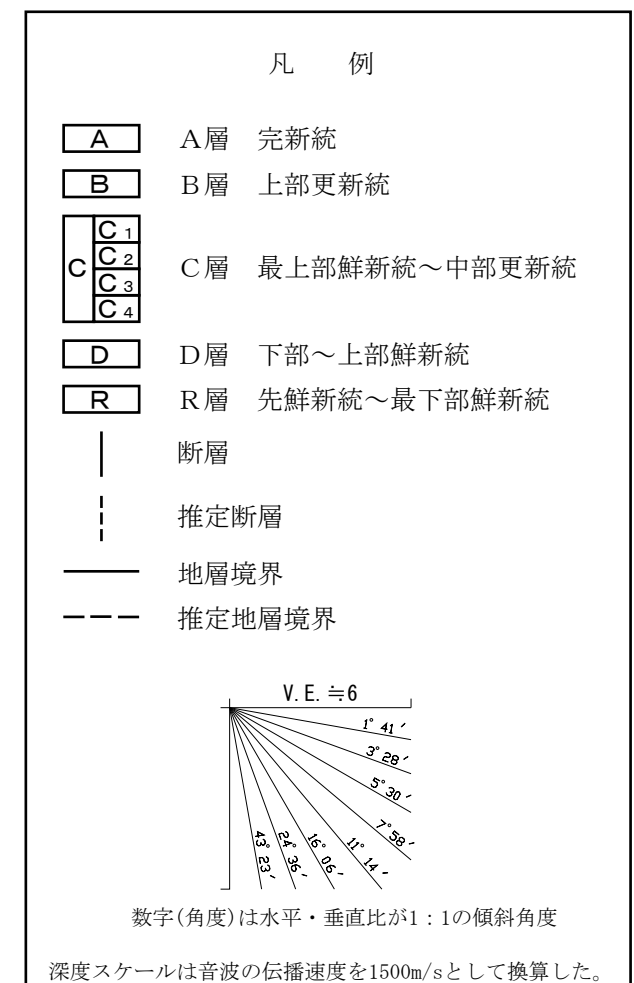
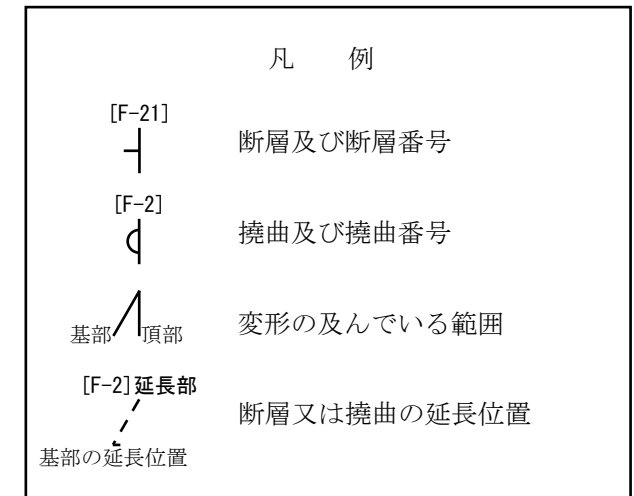
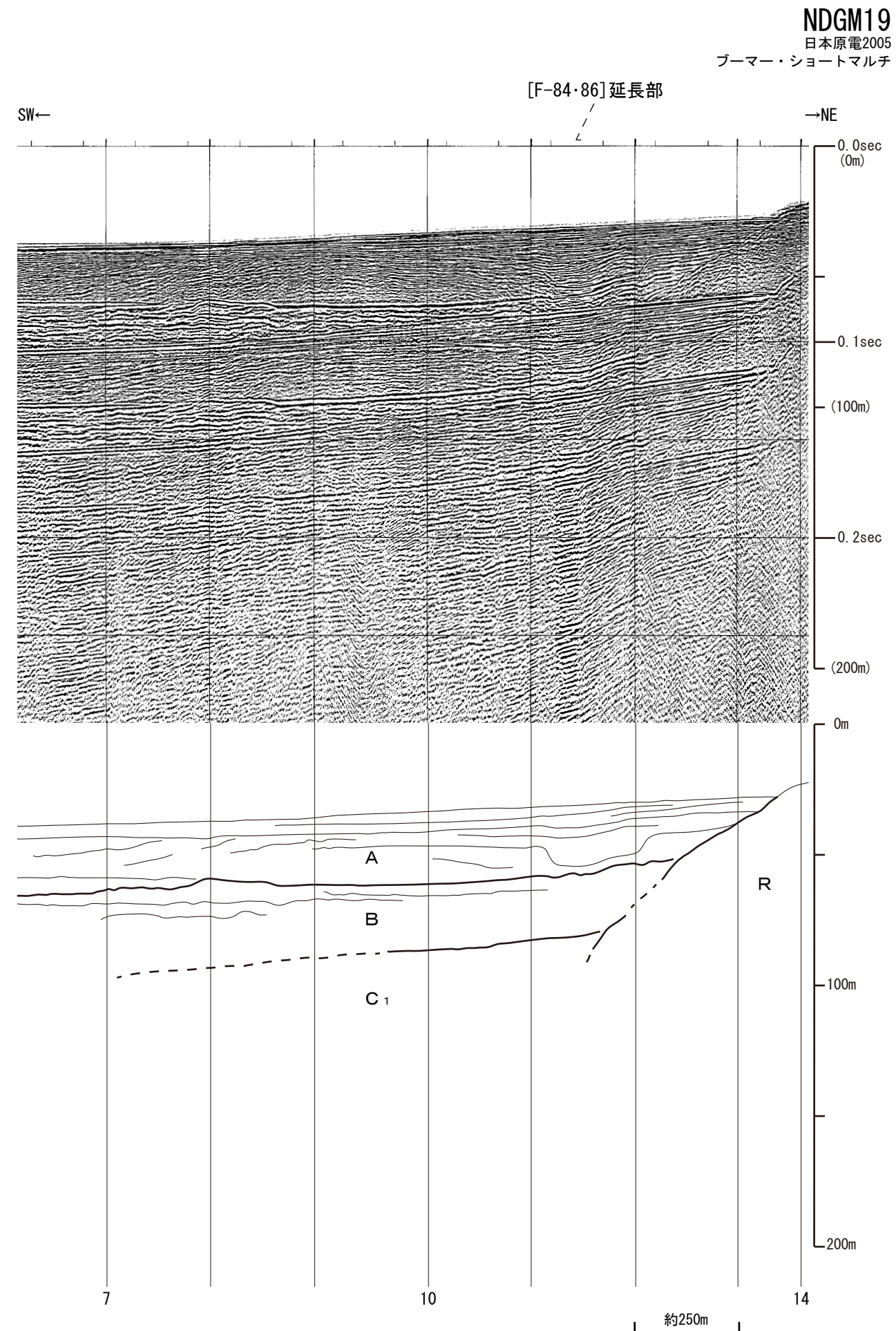
第7.4.2.192図 (1) A断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.40-2)
6-7-4-547



第7.4.2.192図 (2) A断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NDGM7)

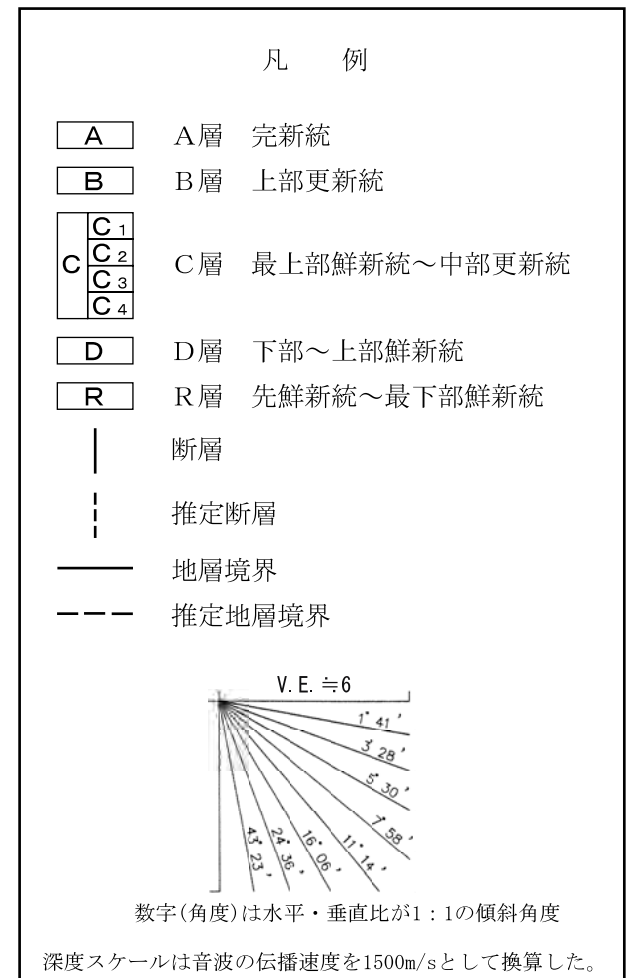
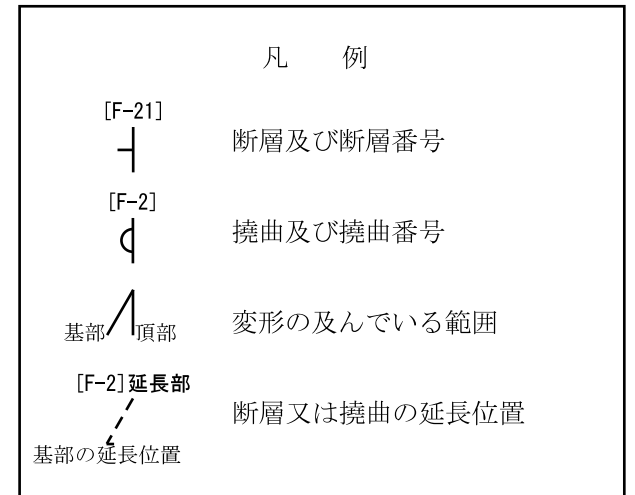
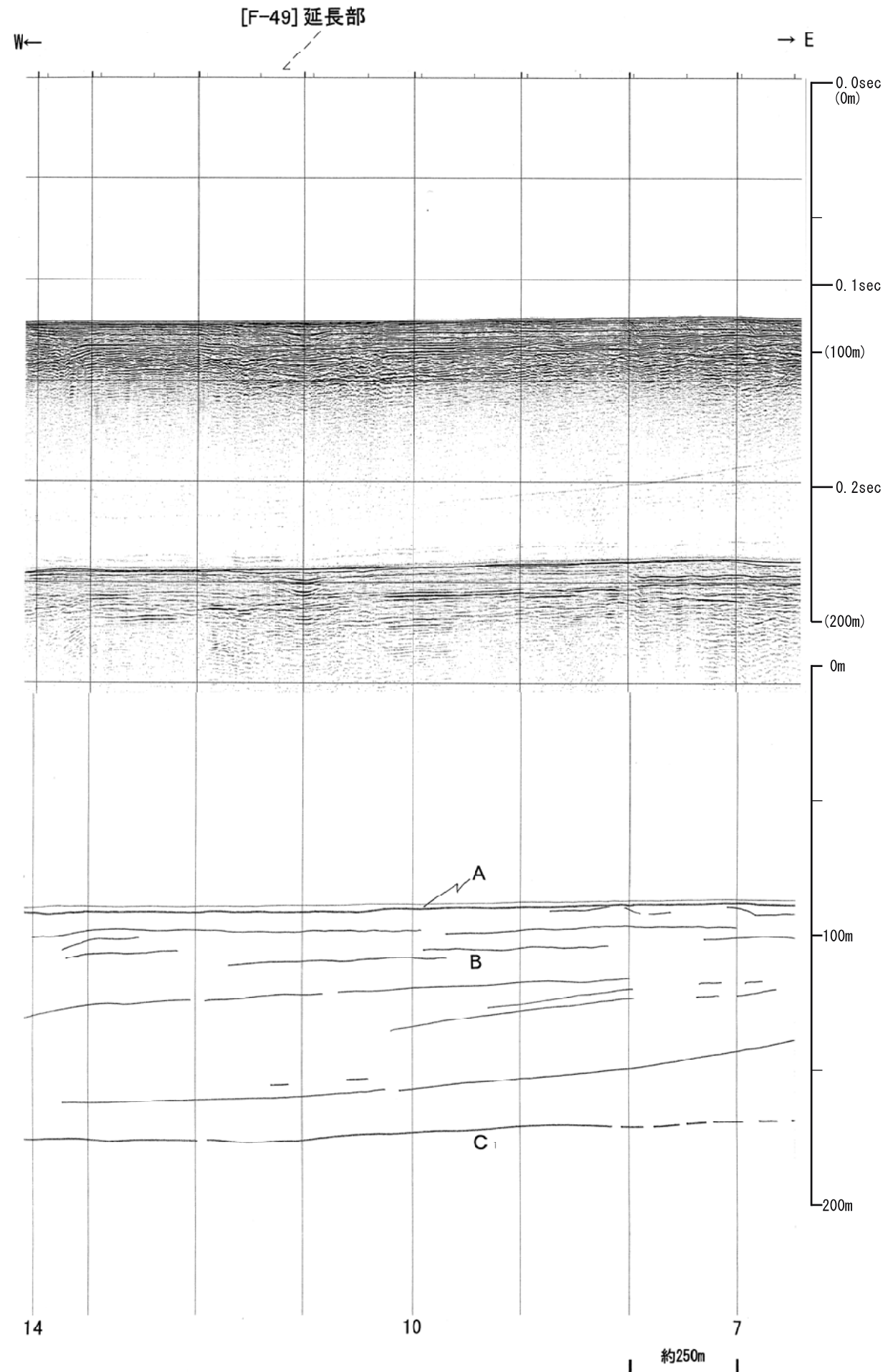


第7.4.2.192図 (3) A断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NDGM17)

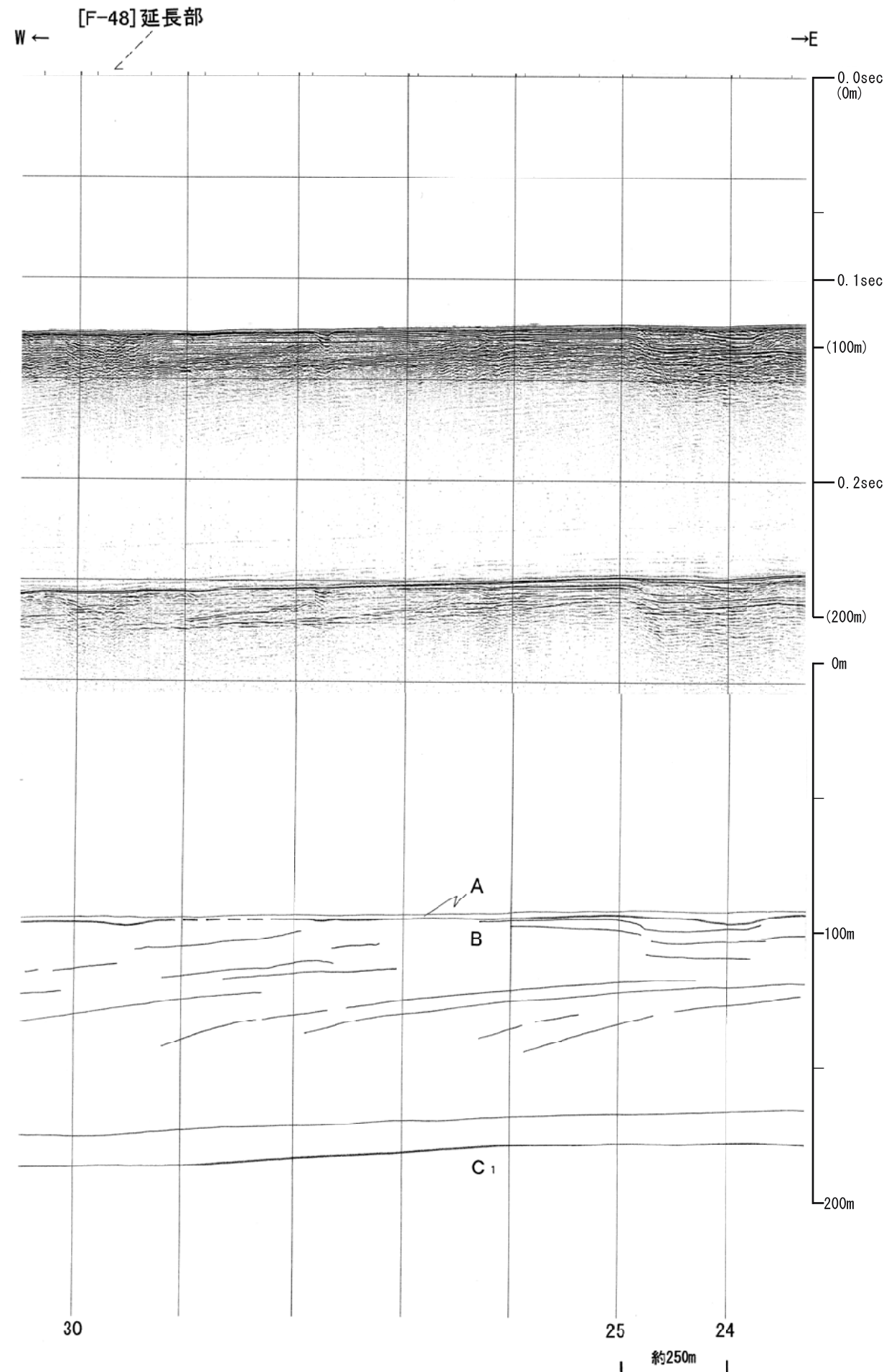


第7.4.2.192図 (4) A断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NDGM19)
6-7-4-550

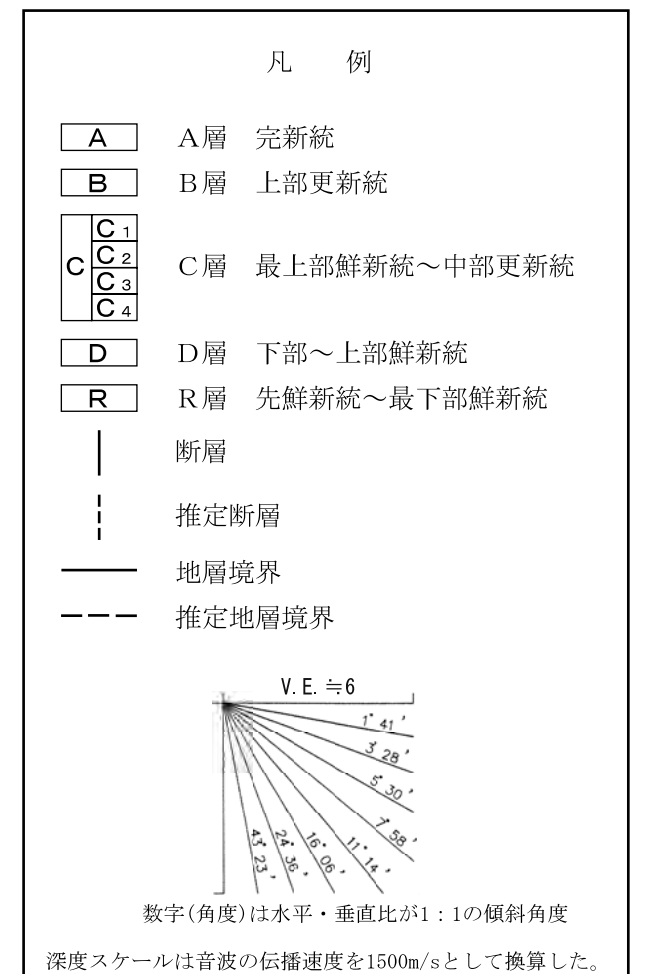
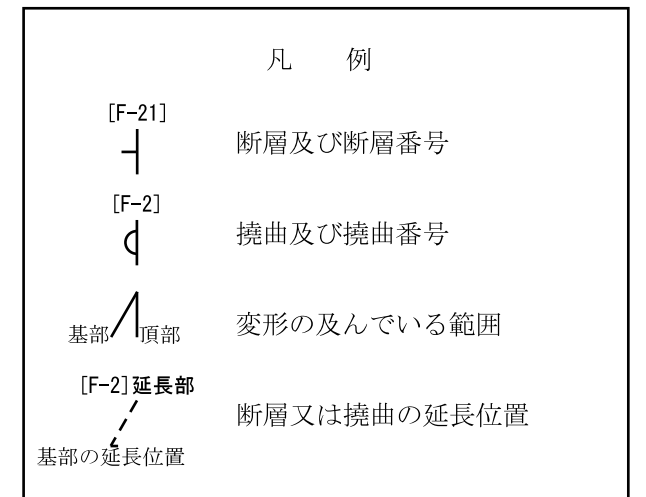
関西電力株式会社
 による音波探査記録



第7.4.2.193図 (1) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.22-2G)
 6-7-4-551

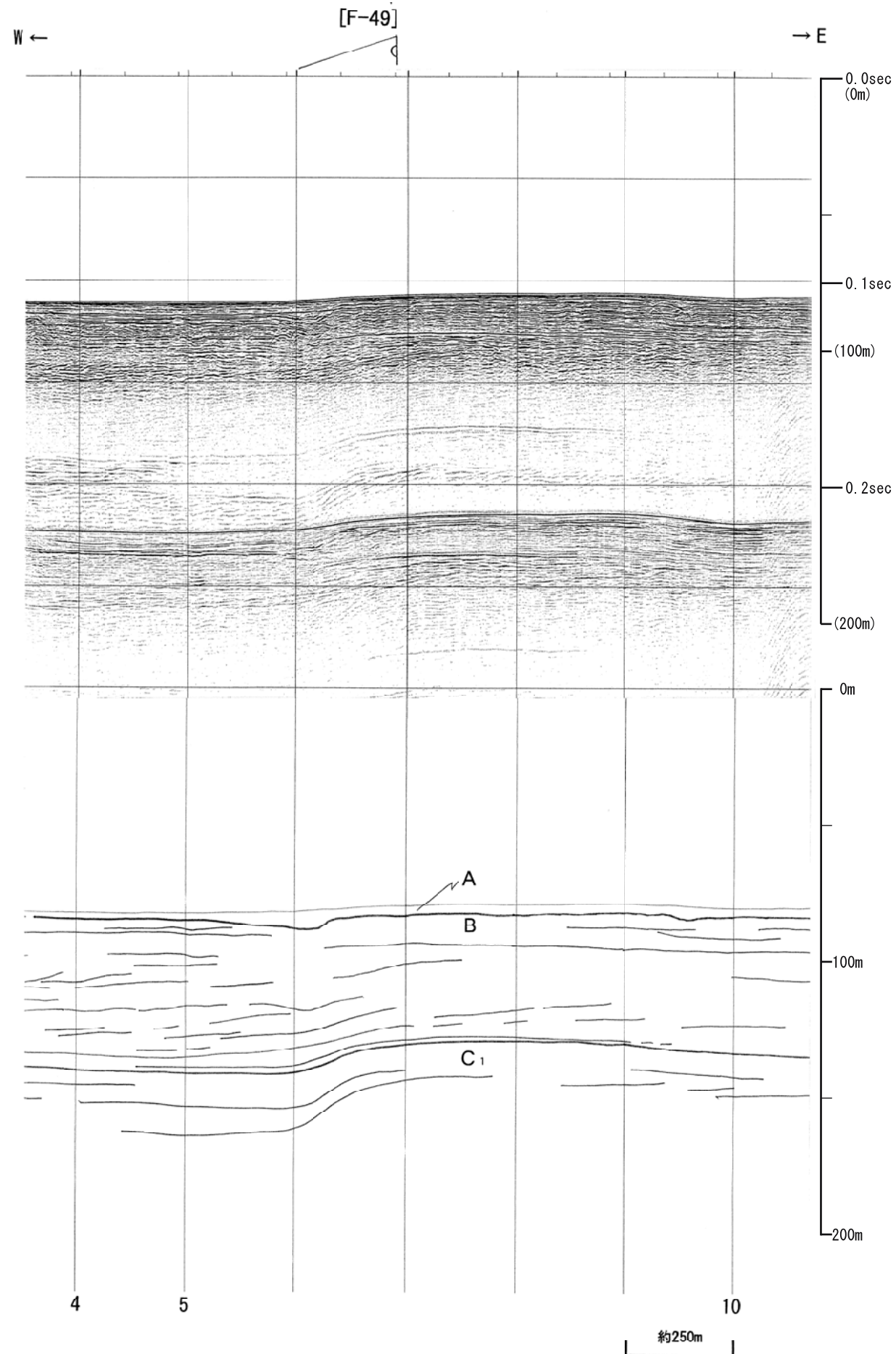


関西電力株式会社
 による音波探査記録

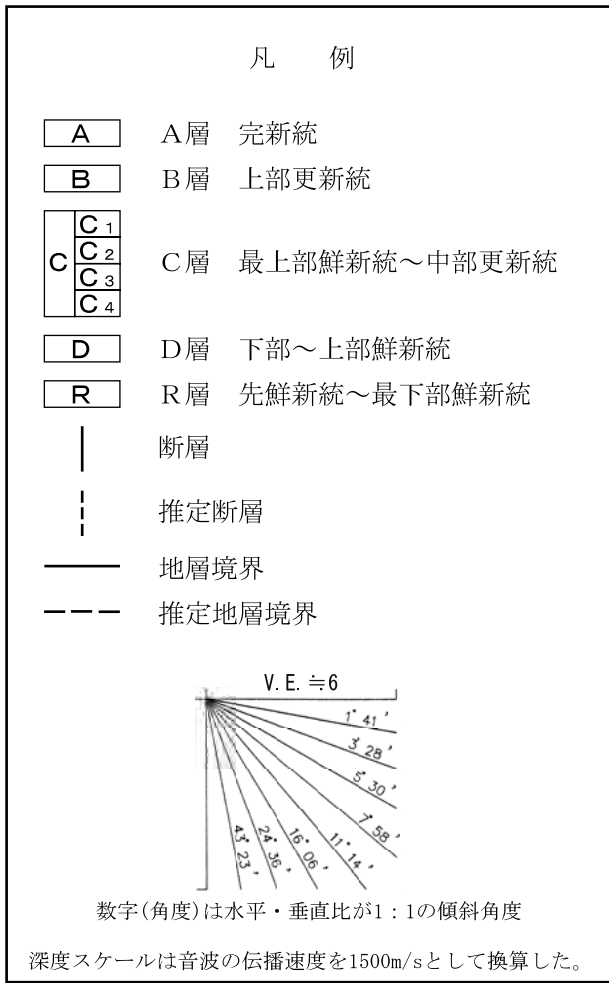
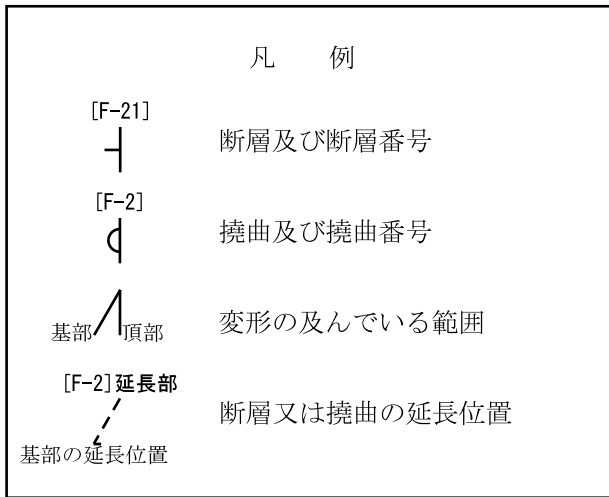


No. 28-1G

関西電力2006
ブーマ・ショートマルチ



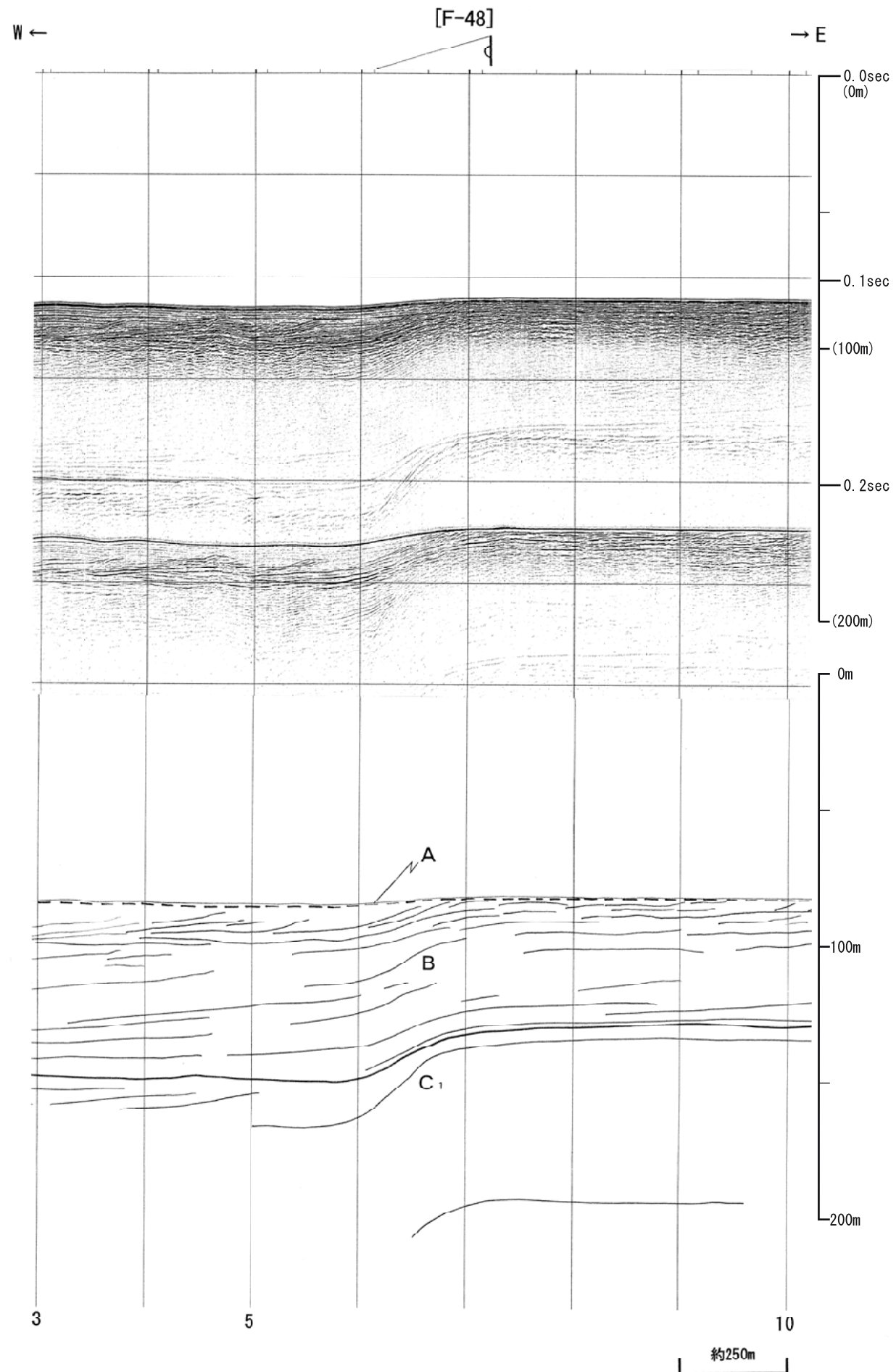
関西電力株式会社
による音波探査記録



第7.4.2.193図 (3) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.28-1G)

No. 28-3G

関西電力2006
ブーマ・ショートマルチ



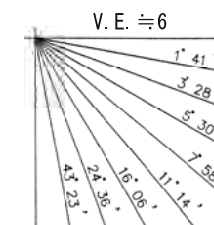
関西電力株式会社
による音波探査記録

凡 例

- [F-21] 断層及び断層番号
- [F-2] 撓曲及び撓曲番号
- 基部 頂部 変形の及んでいる範囲
- [F-2] 延長部 断層又は撓曲の延長位置
- 基部の延長位置

凡 例

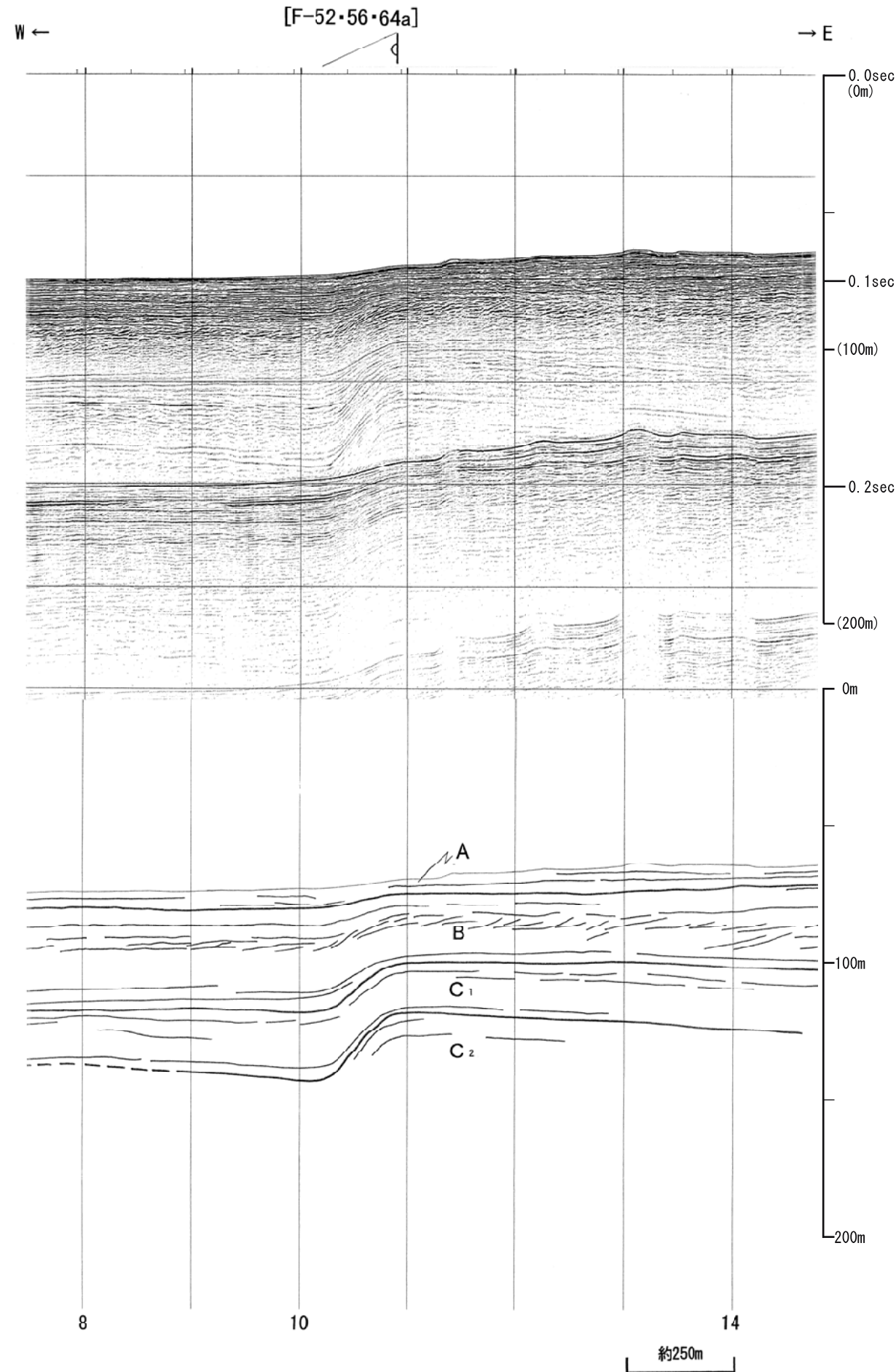
- A 層 完新統
- B 層 上部更新統
- C 層 最上部鮮新統～中部更新統
- D 層 下部～上部鮮新統
- R 層 先鮮新統～最下部鮮新統
- 断層
- 推定断層
- 地層境界
- 推定地層境界



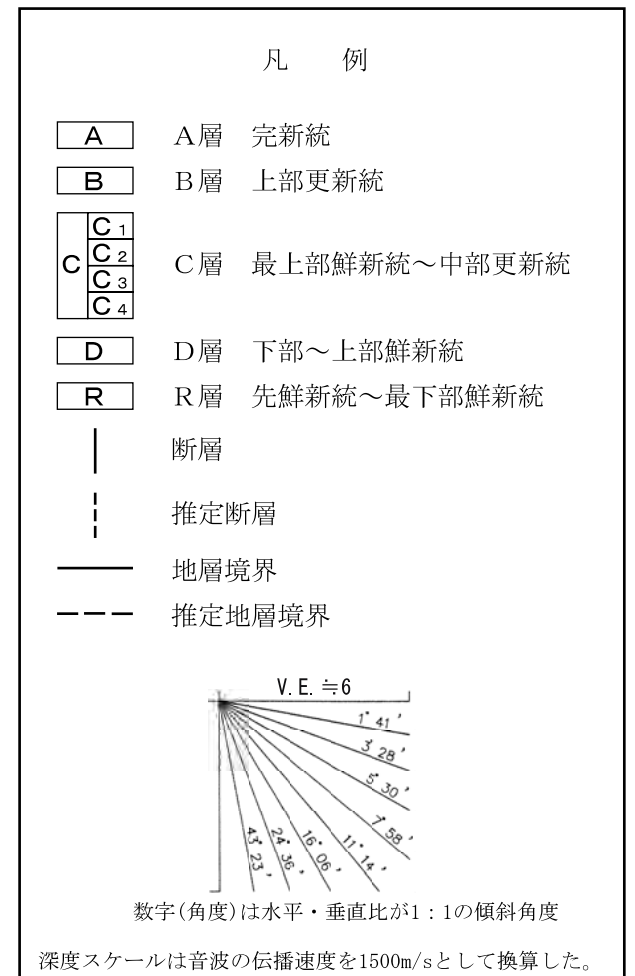
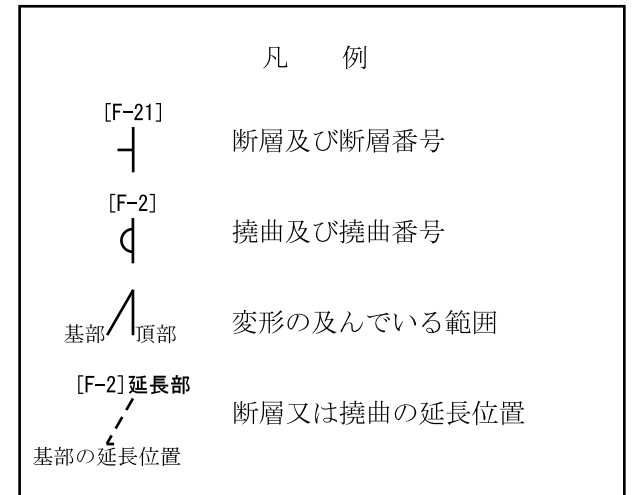
数字(角度)は水平・垂直比が1:1の傾斜角度

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

第7.4.2.193図 (4) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.28-3G)

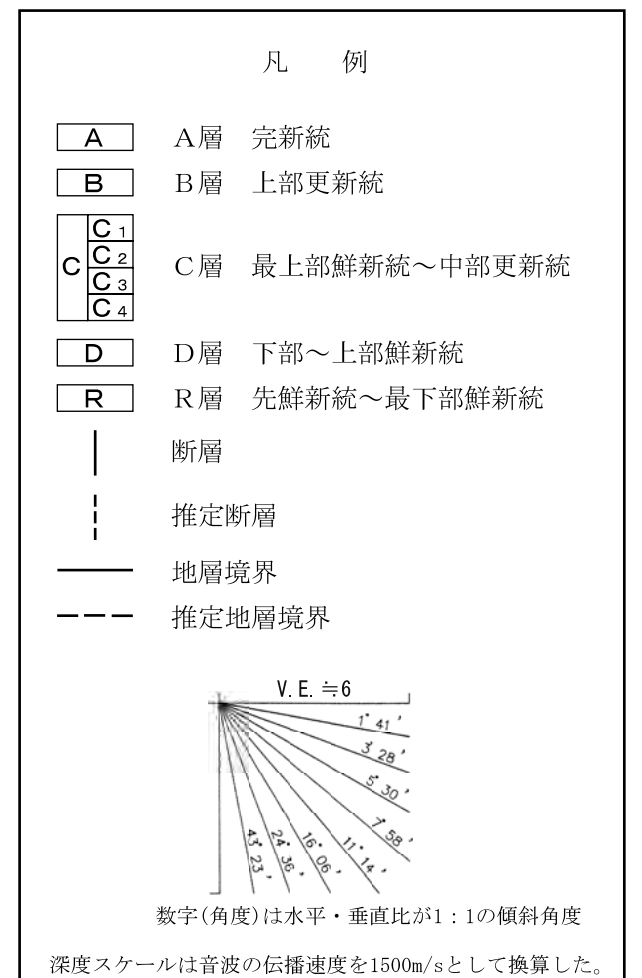
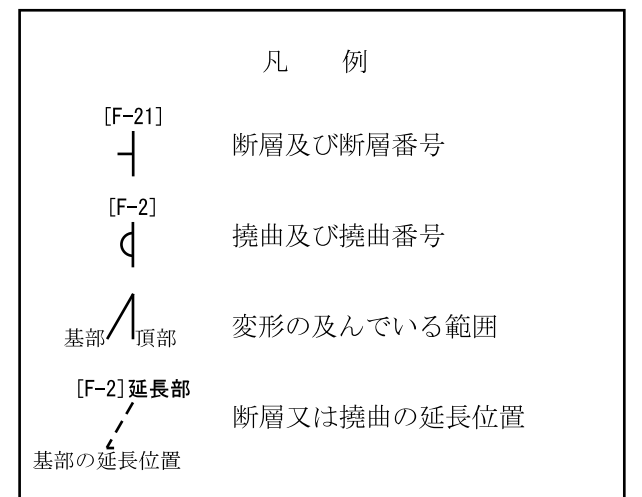
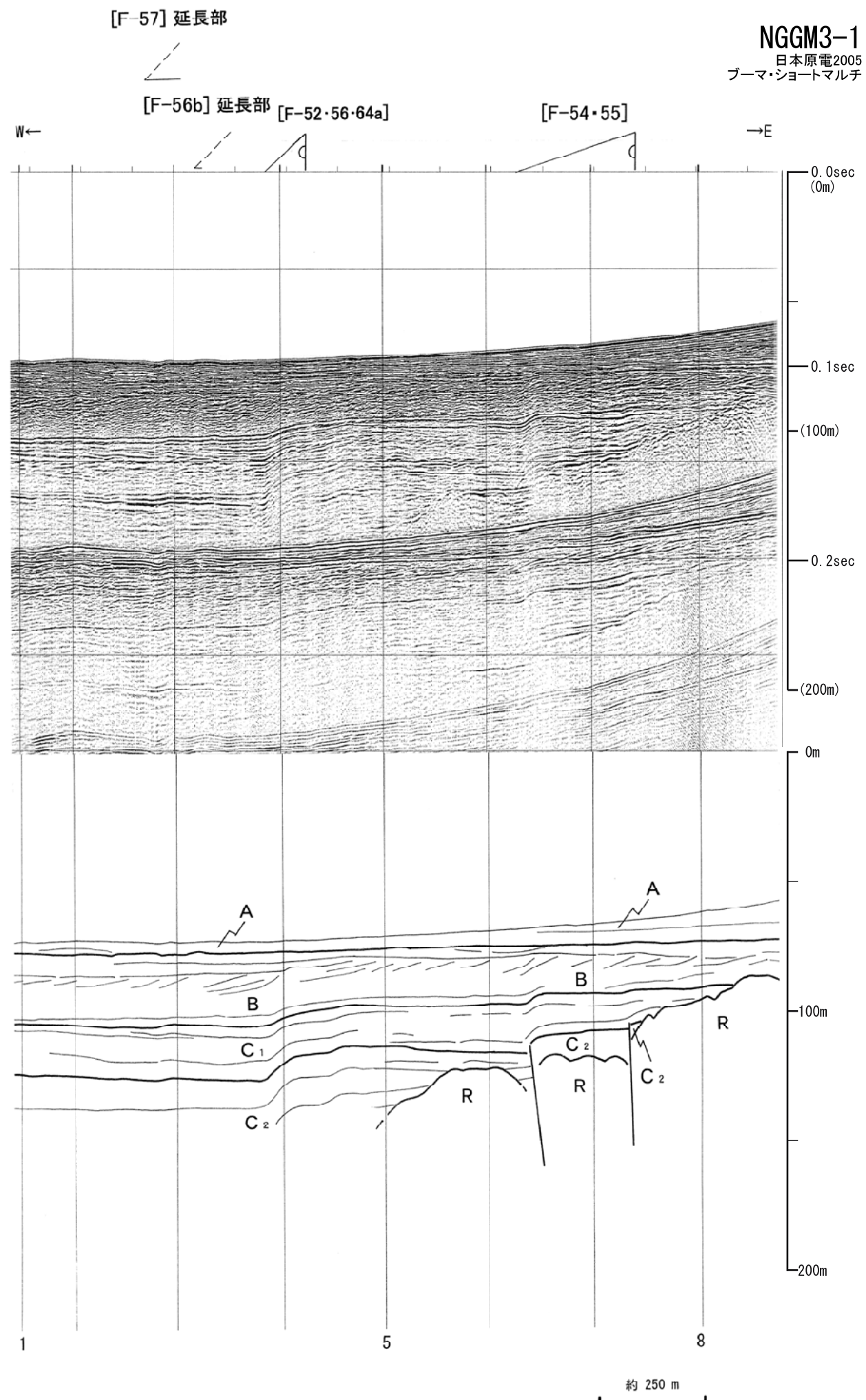


関西電力株式会社
による音波探査記録



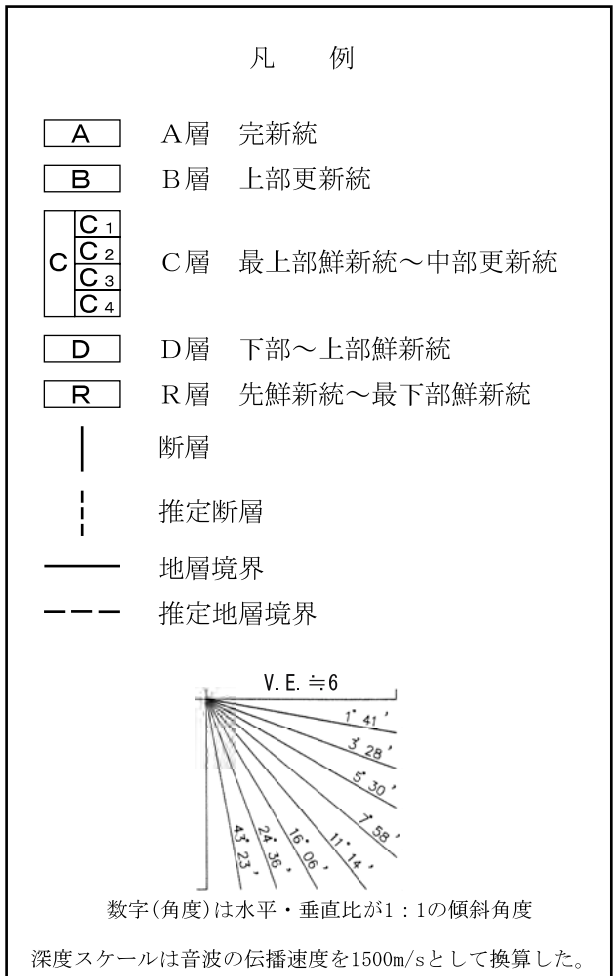
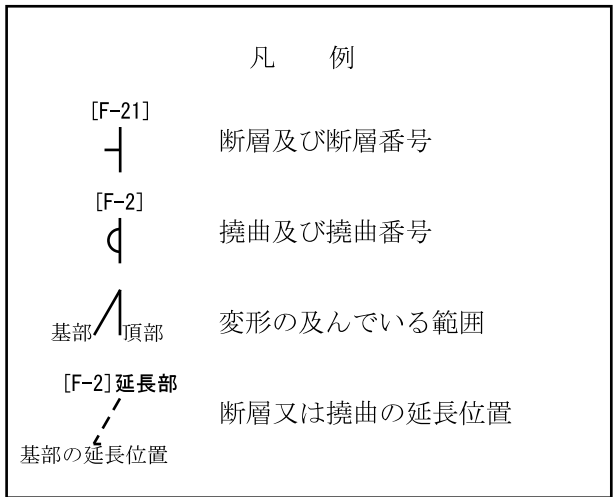
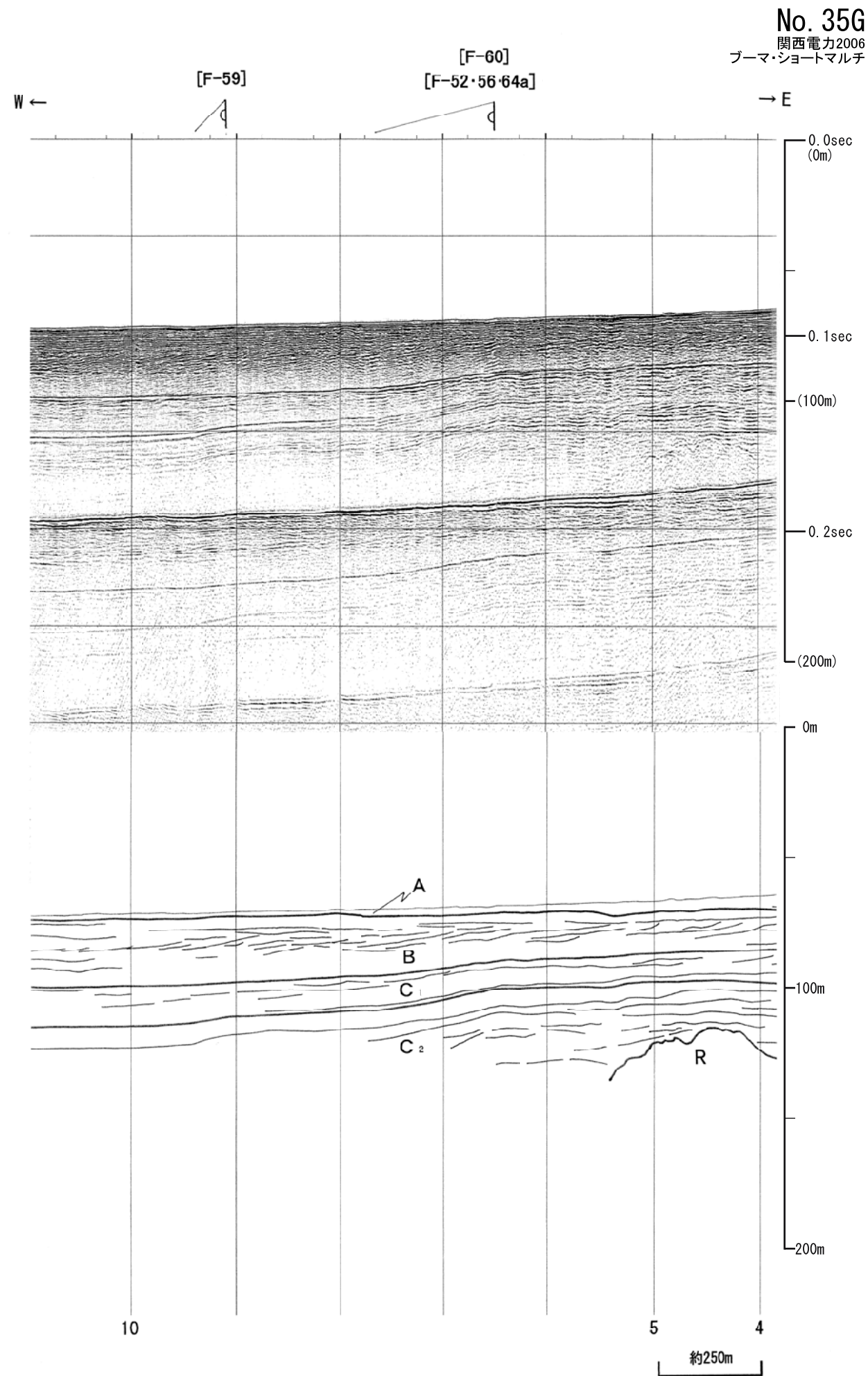
第7.4.2.193図 (5) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.32-1G)

6-7-4-555

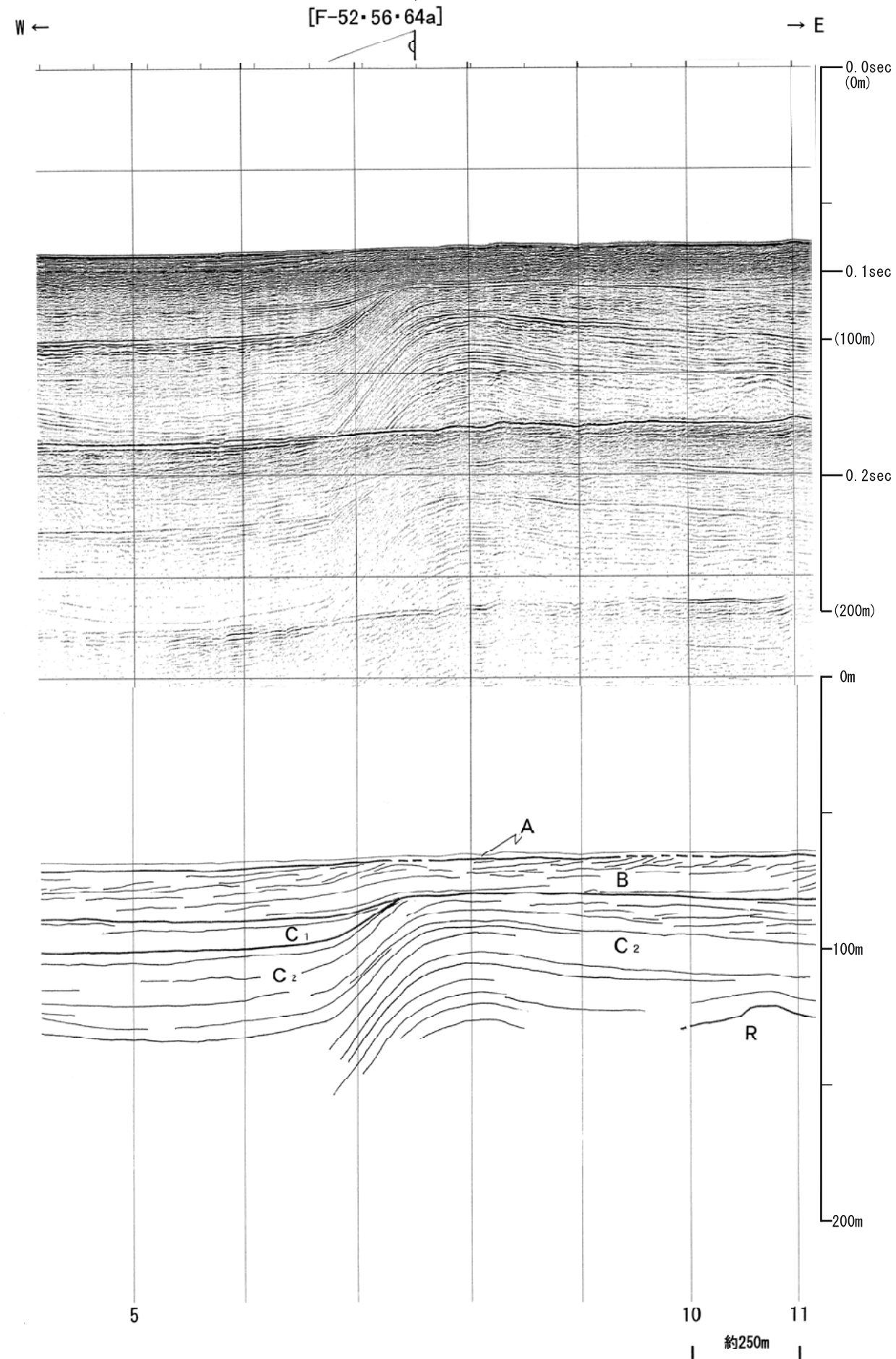


第7.4.2.193図 (6) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (NGGM3-1)

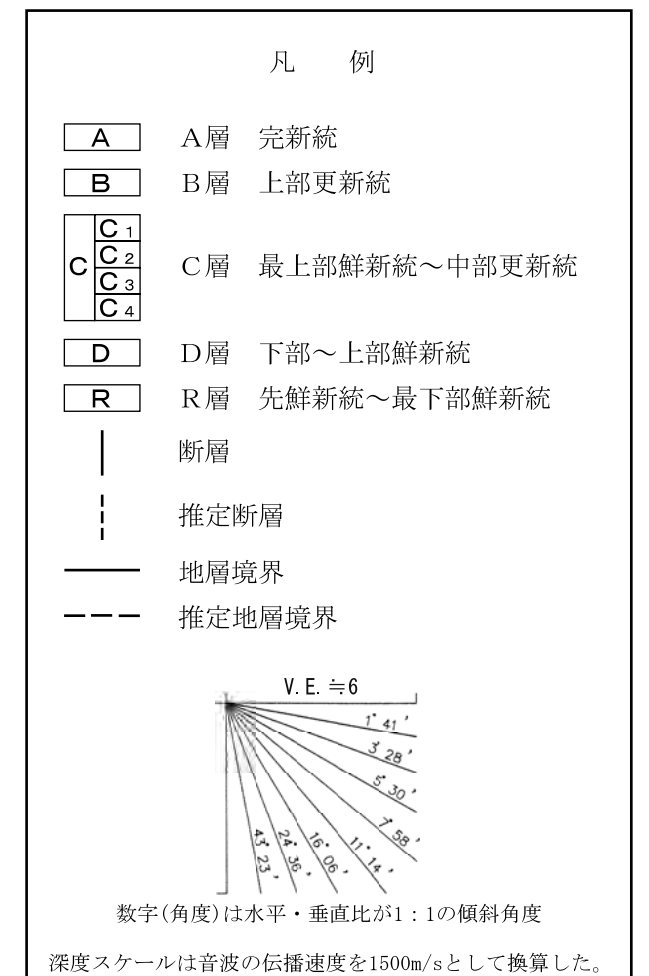
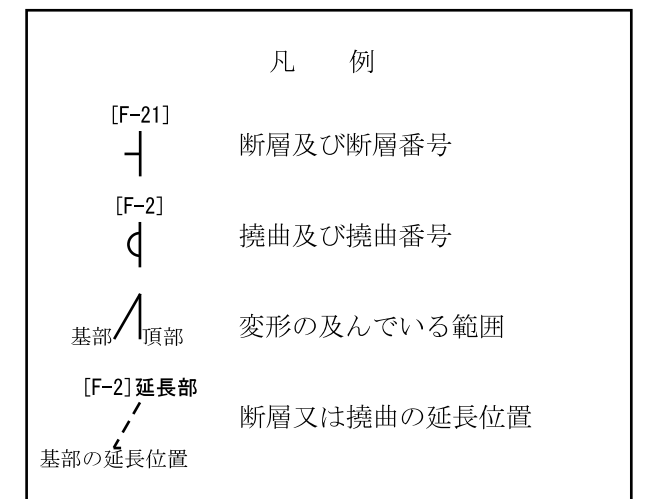
関西電力株式会社
による音波探査記録



第7.4.2.193図 (7) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.35G)

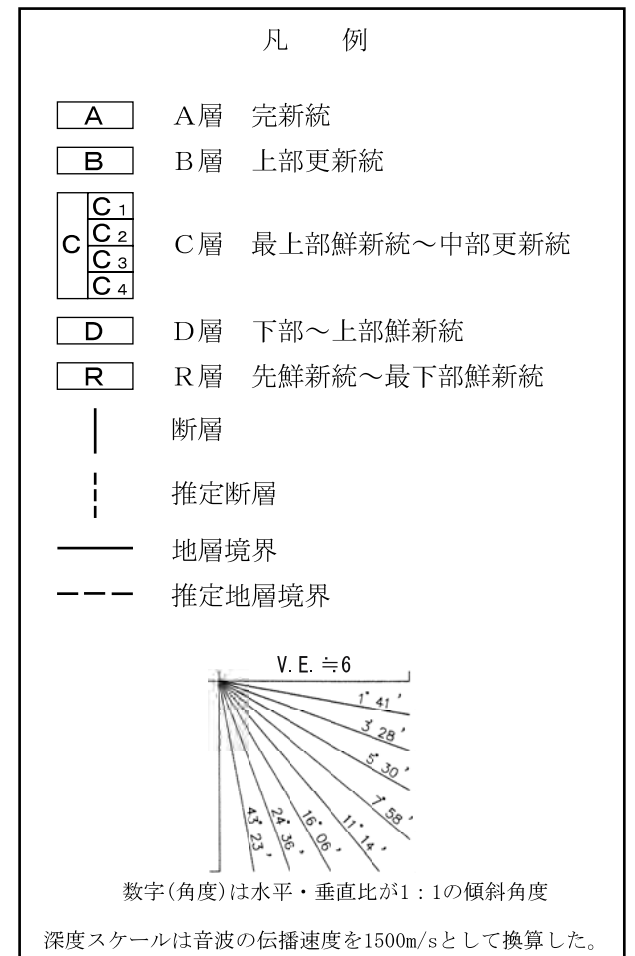
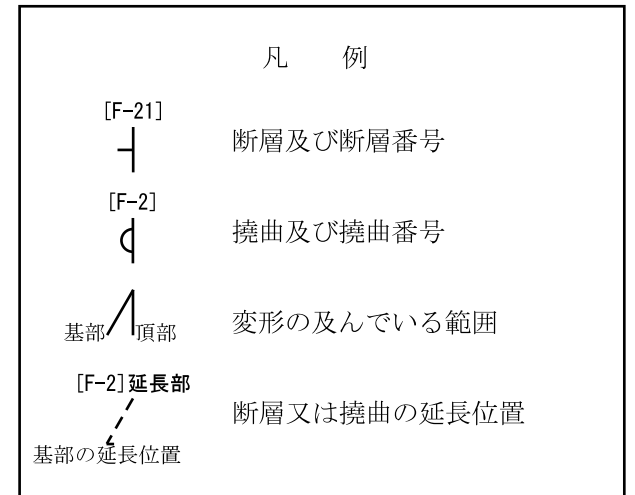
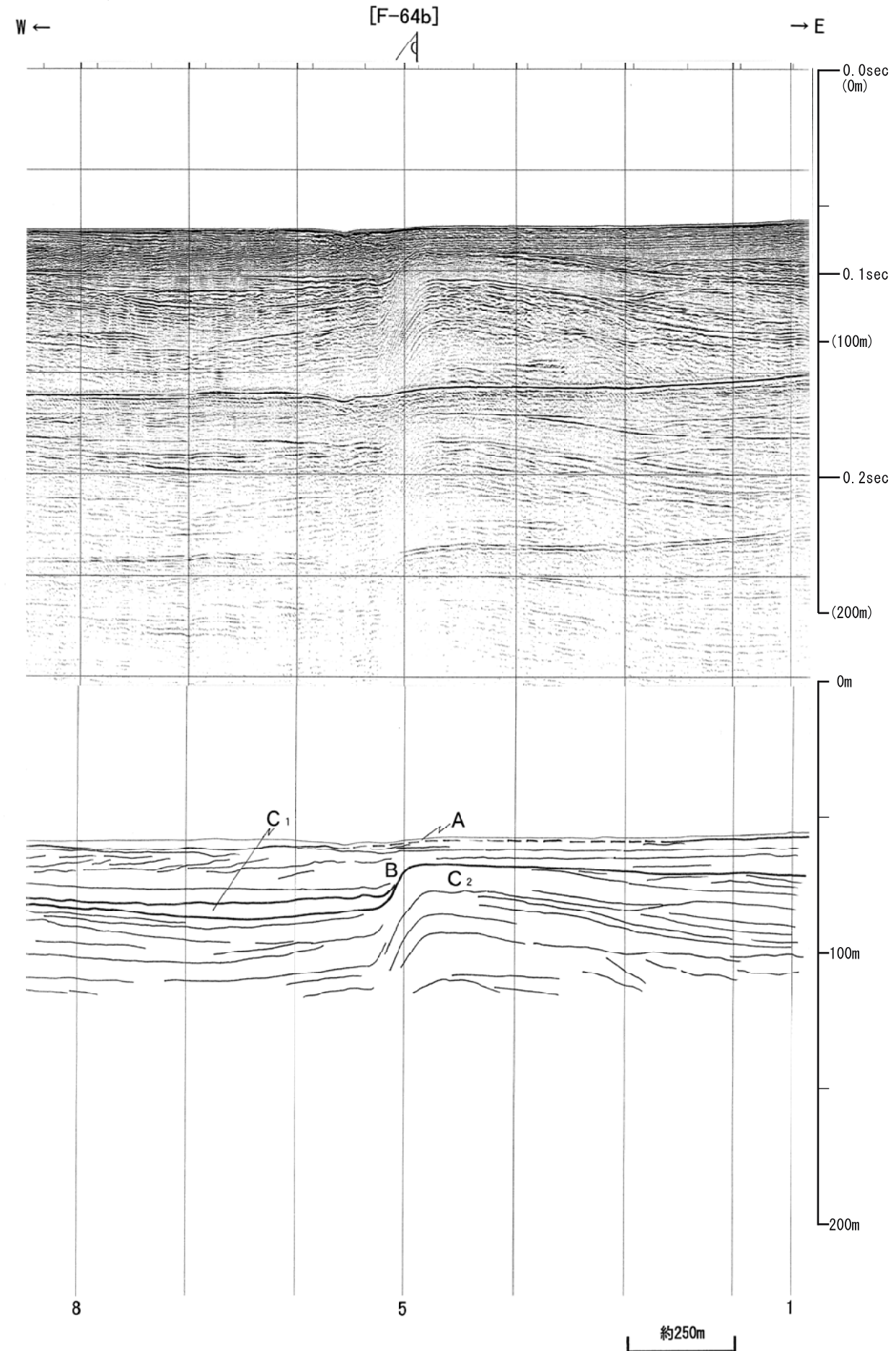


関西電力株式会社
 による音波探査記録



第7.4.2.193図 (8) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.37-2G)
 6-7-4-558

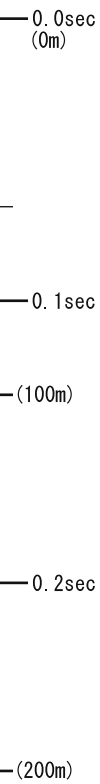
関西電力株式会社
 による音波探査記録



第7.4.2.193図 (9) C断層の海上音波探査記録及び地質断面図 (No.39G)
 6-7-4-559

関西電力2006
ブーマ・ショートマルチ

7

 $\rightarrow E$ 

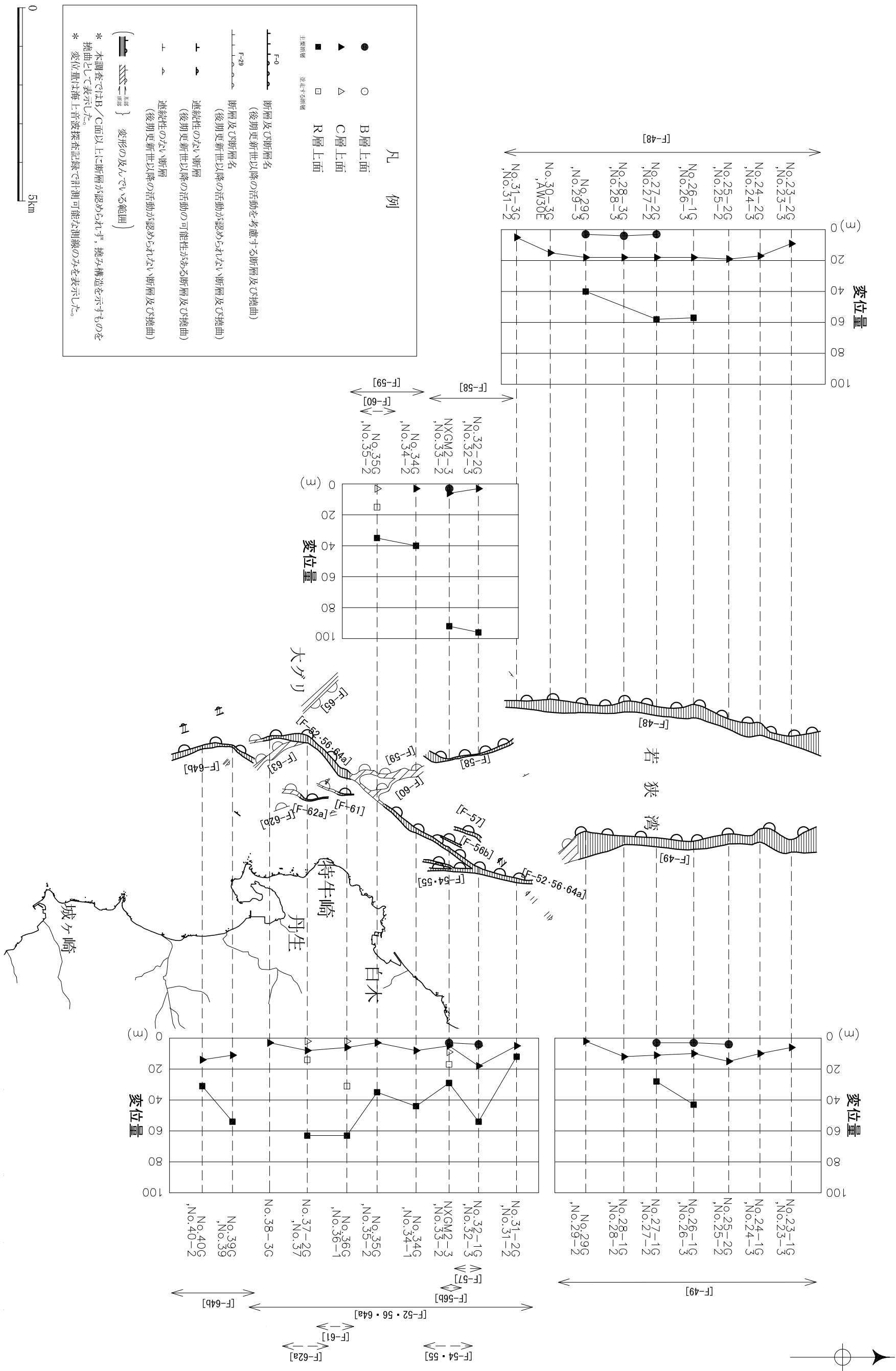
関西電力株式会社 による音波探査記録



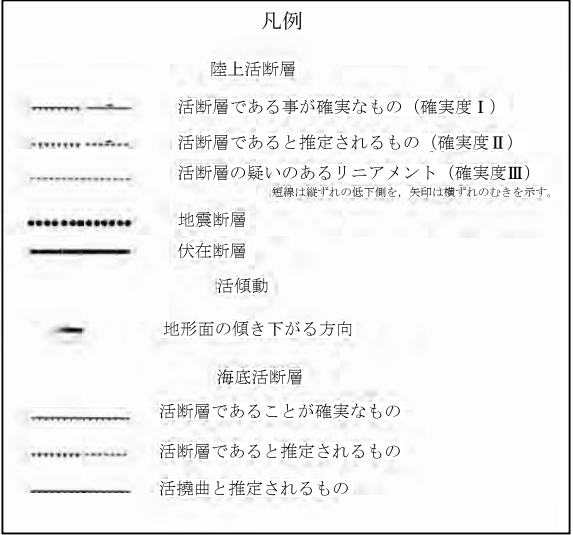
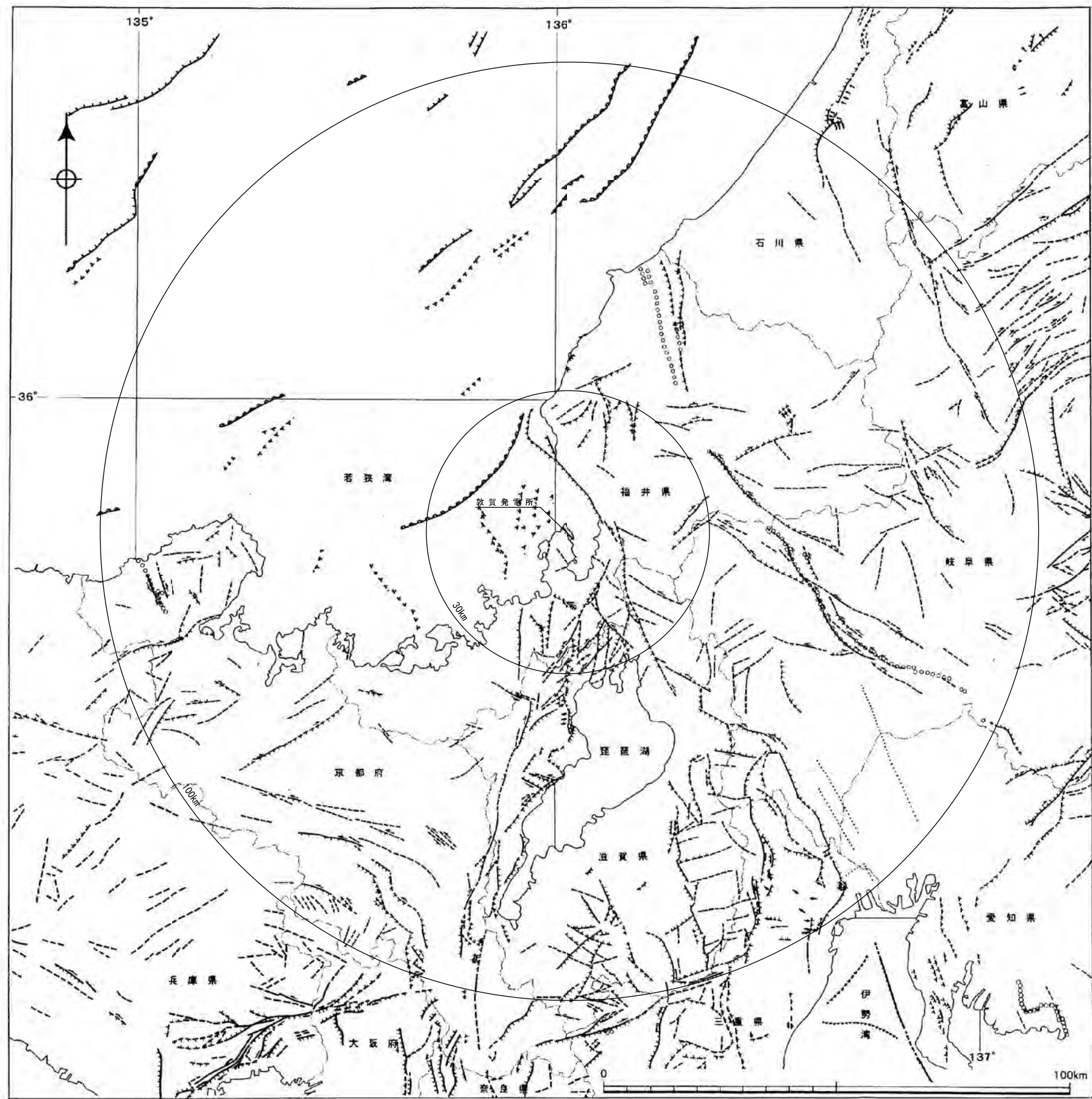
基部の延長位置

深度スケールは音波の伝播速度を1500m/sとして換算した。

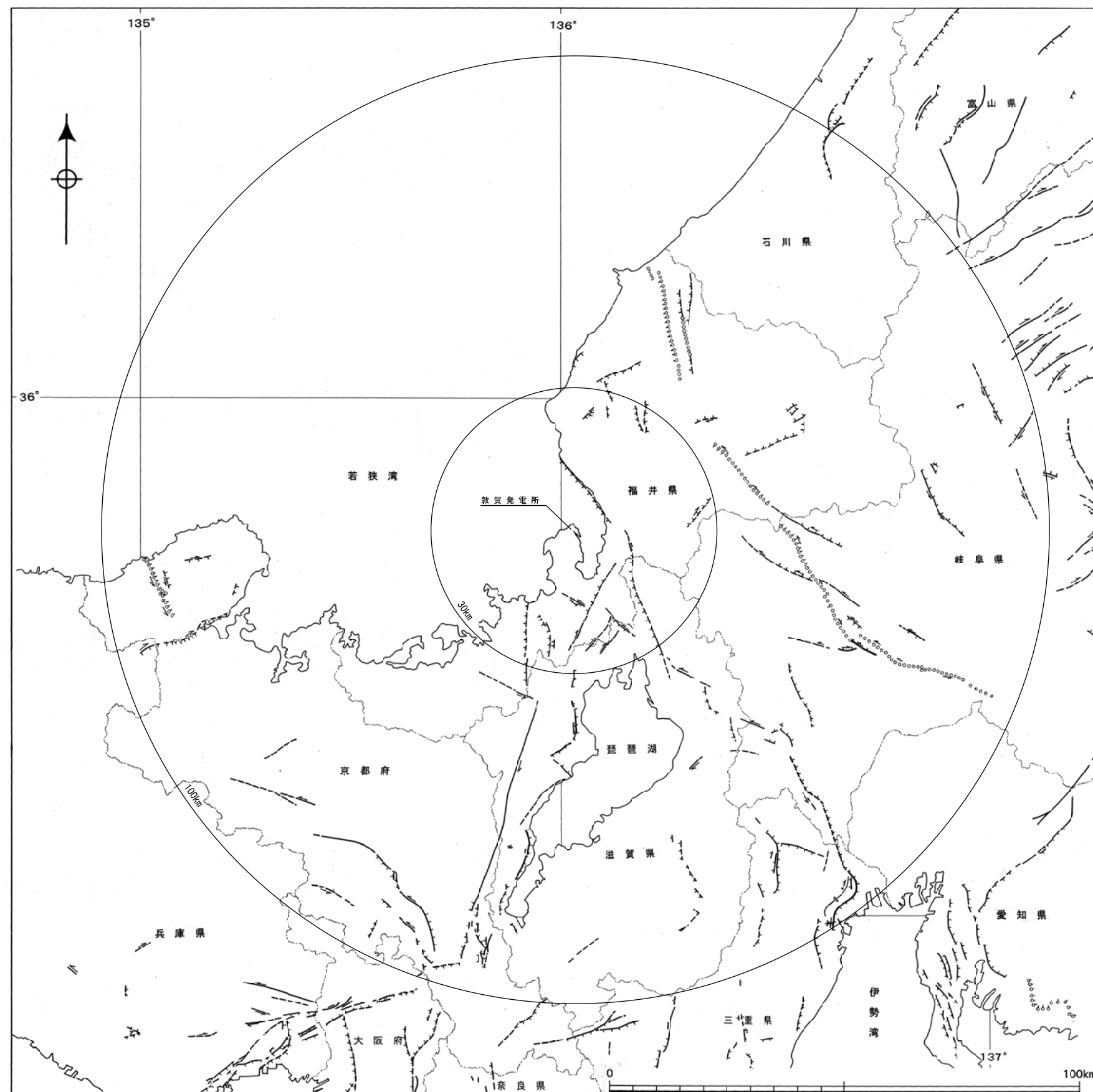
6-7-4-560



第7.4.2.194図 C断層の変位量分布図

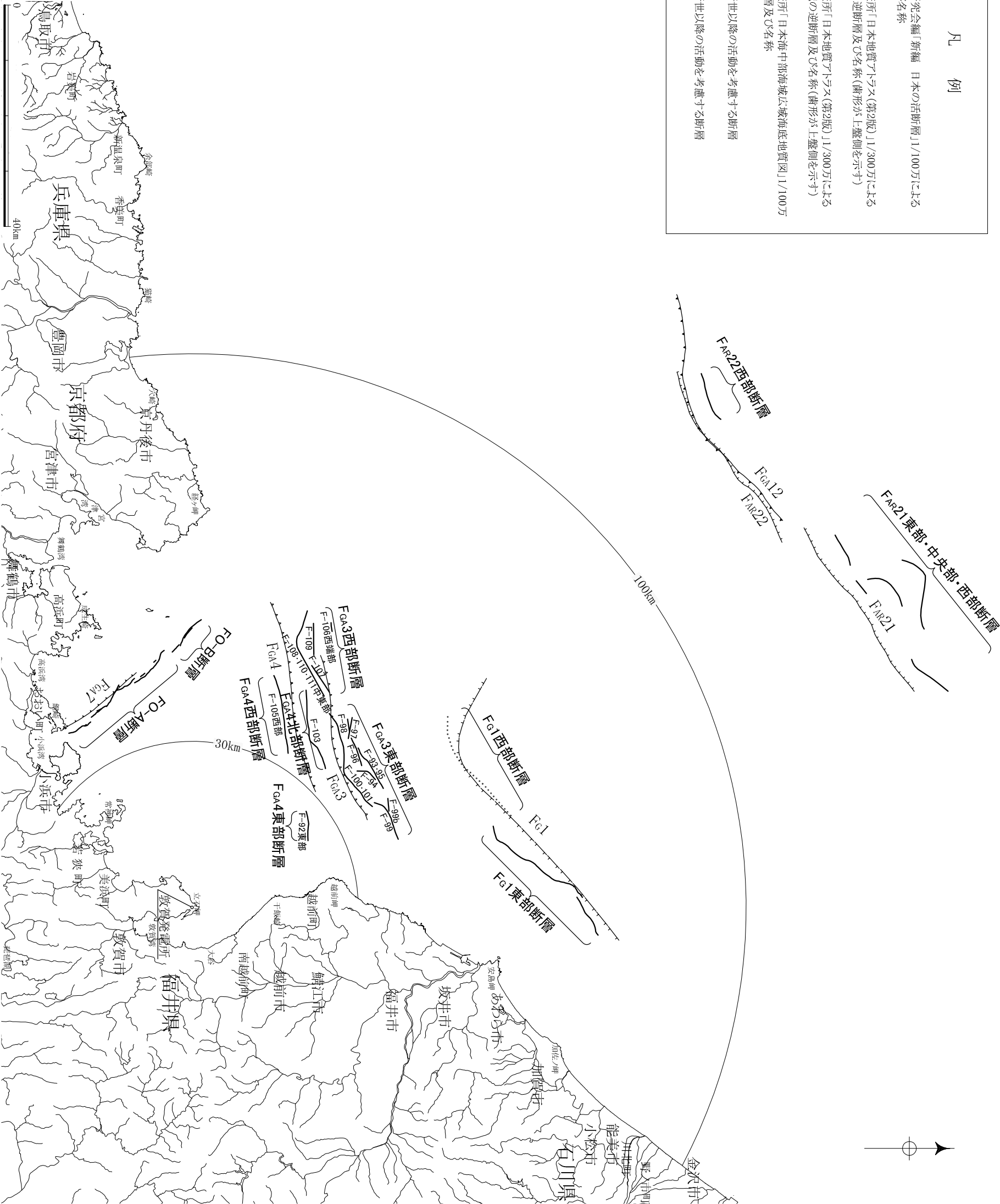


第7.4.2.195図 敷地周辺陸域の活断層分布図「[新編] 日本の活断層」
(半径約100km)



第7.4.2.196図 敷地周辺陸域の活断層分布図「活構造図」
(半径約100km)

凡	例
	活断層研究会編「新編 日本の活断層」1/100万による断層及び名称
	地質調査所「日本地質アトラス(第2版)」1/300万による第四紀の逆断層及び名称(歯形が上盤側を示す)
	地質調査所「日本地質アトラス(第2版)」1/300万による新第三紀の逆断層及び名称(歯形が上盤側を示す)
	地質調査所「日本海中部海城広域海底地質図」1/100万による断層及び名称
.....	中期更新世以降の活動を考慮する断層
——	後期更新世以降の活動を考慮する断層



第7.4.2. 198図 敷地周辺海域の主要断層評価図